

V 施策評価

1 施策評価の概要

施策評価は、第1期実行計画に掲げた40の施策を評価単位として、各施策に設定した成果指標の目標値に対する達成度、事務事業評価結果に基づき、施策配下の事務事業を効果的にマネジメントしているか、分析・検証し、今後の方向性について検討をするものである。

施策評価シートの作成は、施策主管部局の担当課長が行い、施策配下の事務事業が複数部局にまたがる場合は、部局間の情報共有と連携を図る。

(例:出産から育児への切れ目のない支援…福祉子ども部、健康保険部、政策調整部)

2 評価の進め方

◆(1) 施策概要の把握

施策の課題、目標とする姿、視点、指標、視点の主な取組について、実行計画に記載している内容を確認する。



◆(2) 指標の目標達成度の把握

実行計画において、施策の成果や効果を測る定量的で客観性のある「成果指標」を設定し、基準値と目標値を示している。当該指標について、評価年度の達成度を把握する。



◆(3) 施策評価市民モニタリングの実施

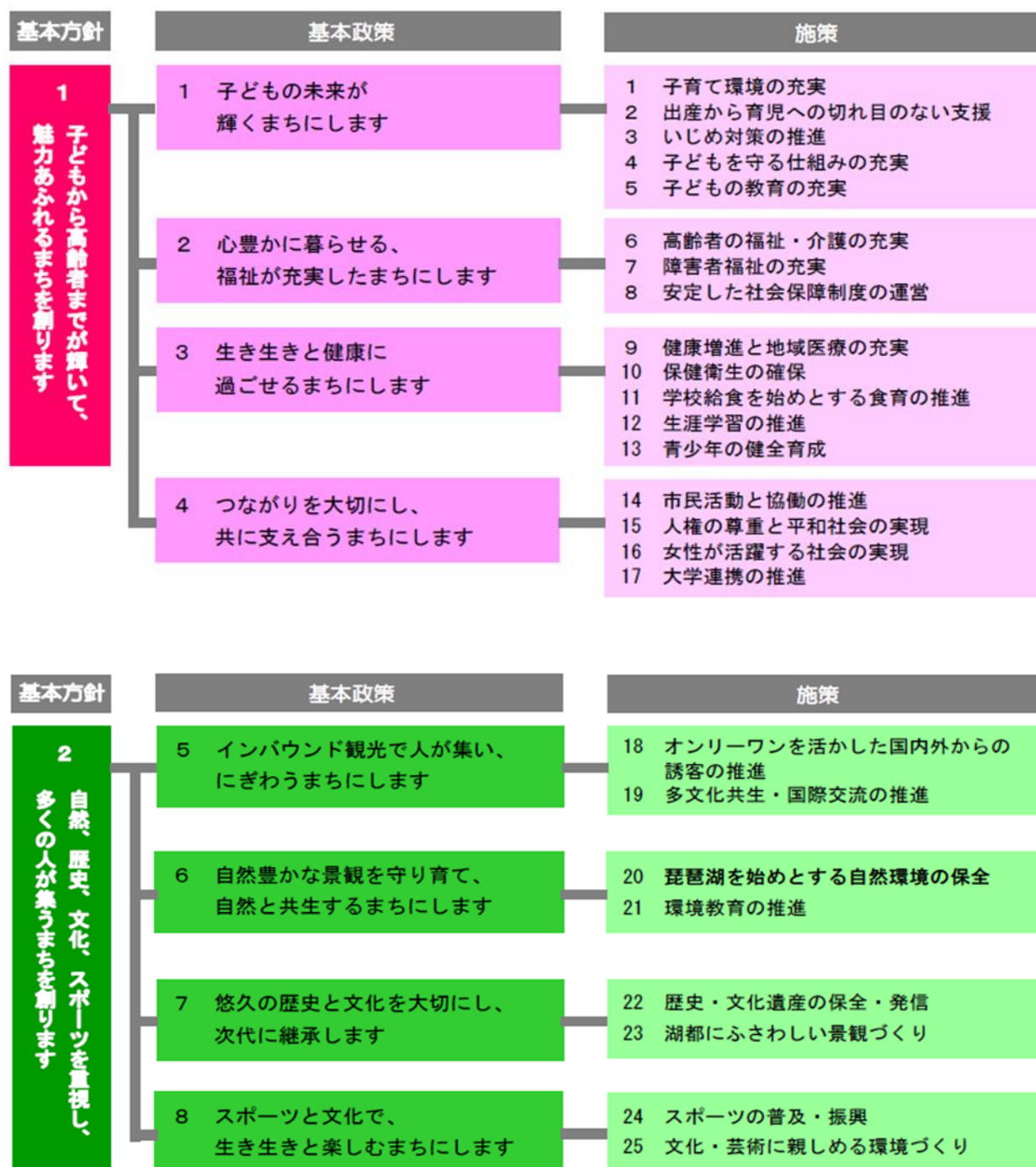
市民の視点から、本市が取り組む施策について、モニタリング・評価を実施する。
市が進めている各施策の取り組みについて、現状に対する満足度、今後の重要性について調査し、その結果を評価に活かす。



◆(4) 施策の評価及び方向性

指標の達成度や施策配下の事務事業評価結果並びに施策評価市民モニタリングによる市民満足度、重要度等から、施策を総合的に評価し、今後の方向性（見直し・追加・削除）について検討する。

3 施策体系（第1期実行計画）



基本方針	基本政策	施策
3 安心、快適に住み続けることのできる 活力のあるまちを創ります	9 安心、安全に暮らすことのできるまちにします	26 災害に強いまちづくりの推進 27 防犯力の向上と生活安全の推進 28 消防・救急体制の充実 29 ライフラインの確保
	10 コンパクトで質の高い持続可能なまちにします	30 都心エリアの再生と地域形 31 公共交通ネットワークの再構築 32 住環境の整備
	11 経済が活性化し、元気なまちにします	33 商工業の振興 34 農林水産業の活性化 35 就労支援と働き方の見直し
	12 再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにします	36 再生可能エネルギーの活用 37 循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化
	13 徹底した行財政改革を進め、確かな都市経営を進めます	38 行財政改革の強化と持続可能な都市経営 39 公共施設マネジメントの推進 40 開かれた市政の推進

4 施策評価シートの見方

平成30年度 施策評価シート

所管部	福祉子ども部	所管課	子ども家庭課
施策名	01	子育て環境の充実	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちづくり	(1) 基本情報
	基本政策	01	子どもの未来が輝くまちにします	

<2. 施策概要>

課 題	少子化や核家族化の進行、保護者の働き方の多様化、女性の更なる活躍推進などにより、保育サービスなどの子育て支援に対するニーズが多様化する一方で、地域でのつながりの希薄化等を背景に、誰にも相談できず子育てに不安を抱く親も少なくない。		
目 標 と す る 姿	“待機児童ゼロ”を始め、保育・幼児教育及び児童クラブの「量」の確保と「質」の向上により、若い世代が安心して子育てができる「子育てするなら大津」と言われる環境が整っている。		
視 点	1 保育・幼児教育、児童クラブの「量」の確保と「質」の向上 2 市立幼稚園3年保育の実施等、幼児教育の充実と規模の適正化 3 子ども・子育て支援事業の総合的・計画的な推進		

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目	単位	基準値	目標値		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1 待機児童数	人	0.00	0.00		0.00	-	-	-
2 3年保育の実施率	%	0.00	100.00		28.00	-	-	-
3 地域子育て支援拠点利用者数	人／年	148632.00	157000.00		68299.00	-	-	-

<4. 市民モニタリング結果>

	施策値	総合順位
満足度	2.54	12
重要度	3.91	1

◆評価【 1:満足、2:ほぼ満足、3:あまり満足でない、4:満足でない、5:わからない 】

◆評価【 1:重要、2:ほぼ重要、3:あまり重要でない、4:重要でない、5:わからない 】

◆市民モニタリングでの主な意見

- ・保育園はあっても保育士が不足していて、定員まで受け入れていない保育所がある。保育士の給料が低くハードで辞めていかれる先生も多い。
- ・保育士の不足は切実、又、児童クラブは私立(民間)のものが増えてきているが、十分だとは思えない。
- ・保育士の質の向上
- ・病児保育の可能な保育所の存在を知らない。育児休暇(1年)中だと、早期就業開始の実績がないと、認定こども園を確保してほしい。
- ・保育士、児童クラブ指導員の確保はぜったい必要。保育所や児童クラブの数だけでなく人材の充実が急務。私は、保育士だが、人の命をあずかる激務であるにもかかわらず、給料が安すぎます。仕事はやりがいだけではやっていけません。
- ・保育園も幼稚園も、先生の数が絶対的に少ない。法律的な先生の数は確保されていると思うのですが、「質」の面を考えると、先生の数の増員、施設の充実、保育時間の延長をお願いできればと思います。また、市は園に対して定期的に視察点検、保護者の声の調査をして頂ければ、さらに良くなるように思います。
- ・児童クラブの入所の条件としての労働時間を短くして欲しい。小6までは1人留守番禁止令(オーストラリア)など導入。子供が1人で家にいることでの熱中症、不信者から守る手助けを希望します。
- ・出産等を機に京都等から大津の方が保育所に入りやすいと転居されている人がおられると聞いている。若い人が住むのには重要な点だと思います。
- ・保育士が不足している。また保育士賃金が改善されずやめていく人もいる。結果 残された保育士への負担が増え、十分な子どもへの支援ができない。女性が働きやすい環境づくりの最優先事項だと思う。

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		(5) 施策配下の事務事業評価結果		
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	事業費(千円)
23	0	2	0	25	4,867,561	19	9,379,290	14,246,851

<6. 評価>

◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

平成29年度	◎	(6) 評価	平成32年度
--------	---	--------	--------

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

平成29年度	指標成果のうち、待機児童数については、平成27年度から3年連続で待機児童0を達成し、幼稚園の3年保育の実施率についても着実に上昇している。地域子育て支援拠点利用者数については、前年度よりも減少し、目標数も下回った。 また、施策配下の事務事業についても、民間保育所施設の整備や病児・病後児保育事業、放課後児童健全事業、市立幼稚園3年保育推進事業、児童館運営事業、ファミリーサポートセンター運営事業といった子育て環境の充実に大きく関係する事業については、すべて総合評価が高い結果となり、こうした事業の取組を更に推進することによって、子育て環境の充実を図っていく必要がある。	(7) 評価コメント
--------	---	------------

(1) 基本情報

総合計画の政策体系で、3つの基本方針及び13の基本政策中、どの体系に属する施策であるかを示している。

(2) 施策概要…3つの視点で分かりやすく簡潔に示す。

課 題	施策に関わる一般的な課題や、大津市の抱える課題
目標とする姿	施策を実行することで実現を目指す、まちや市民の状態
視 点	施策を実現するために、特に力を入れることが必要、又は、効果的であると思われる視点

(3) 成果指標

総合計画第1期実行計画の各施策に掲げた数値目標に加え、一部の施策で、各評価主管課により設定された数値目標を指標として掲げている。

(4) 市民モニタリング結果

平成30年度に実施した施策評価市民モニタリングの結果データ及び主な意見を評価の際に、資料の一つとして活用した。

① 調査対象・方法

項 目	内 容
対象地域	大津市全域
調査対象	大津市に居住する18歳以上の男女、48件
抽出方法	住民基本台帳を用いた無作為抽出のうち、希望者による参加
調査方法	市による説明の後に、アンケートでの回答
調 査 日	平成30年7月21日(土)

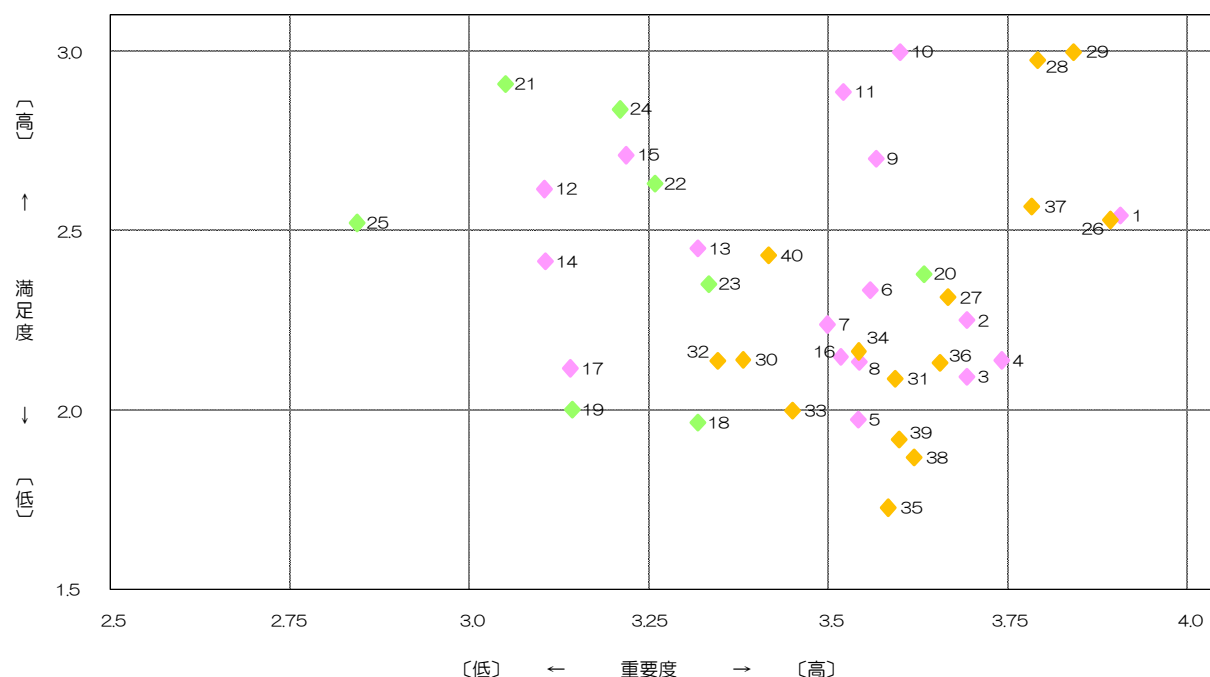
② 集計方法

全設問の集計を行うとともに、各設問を本市の施策に当てはめ、施策ごとの満足度・重要度において、選択肢1「満足、重要」から選択肢4「満足でない、重要でない」までにそれぞれ4点～1点を与え、各設問における得点を算出した。なお、選択肢5「わからない」および「無回答」のサンプルは集計対象から除外している。

◆平成30年度施策評価（平成29年度事後評価）市民モニタリング結果 一覧表

施策 番号	体系コード 方針-政策-施策	施策	満足度		重要度	
			得点	順位	得点	順位
1	01-01-01	子育て環境の充実	2.54	12	3.91	1
2	01-01-02	出産から育児への切れ目のない支援	2.25	22	3.69	7
3	01-01-03	いじめ対策の推進	2.09	33	3.69	8
4	01-01-04	子どもを守る仕組みの充実	2.13	30	3.74	6
5	01-01-05	子どもの教育の充実	1.97	37	3.53	20
6	01-02-01	高齢者の福祉・介護の充実	2.34	20	3.56	18
7	01-02-02	障害者福祉の充実	2.24	23	3.50	24
8	01-02-03	安定した社会保障制度の運営	2.13	29	3.53	19
9	01-03-01	健康増進と地域医療の充実	2.70	8	3.57	17
10	01-03-02	保健衛生の確保	3.00	1	3.60	13
11	01-03-03	学校給食を始めとする食育の推進	2.89	5	3.52	22
12	01-03-04	生涯学習の推進	2.62	10	3.11	37
13	01-03-05	青少年の健全育成	2.45	15	3.32	30
14	01-04-01	市民活動と協働の推進	2.42	17	3.11	38
15	01-04-02	人権の尊重と平和社会の実現	2.71	7	3.22	33
16	01-04-03	女性が活躍する社会の実現	2.15	25	3.51	23
17	01-04-04	大学連携の推進	2.11	31	3.14	35
18	02-01-01	オンリーワンを活かした国内外からの誘客の推進	1.97	36	3.32	31
19	02-01-02	多文化共生・国際交流の推進	2.00	34	3.14	36
20	02-02-01	琵琶湖を始めとする自然環境の保全	2.38	18	3.63	11
21	02-02-02	環境教育の推進	2.91	4	3.05	39
22	02-03-01	歴史・文化遺産の保全・発信	2.64	9	3.26	32
23	02-03-02	湖都にふさわしい景観づくり	2.35	19	3.33	29
24	02-04-01	スポーツの普及・振興	2.84	6	3.21	34
25	02-04-02	文化・芸術に親しめる環境づくり	2.52	14	2.84	40
26	03-01-01	災害に強いまちづくりの推進	2.53	13	3.89	2
27	03-01-02	防犯力の向上と生活安全の推進	2.32	21	3.67	9
28	03-01-03	消防・救急体制の充実	2.97	3	3.79	4
29	03-01-04	ライフラインの確保	3.00	1	3.84	3
30	03-02-01	都心エリアの再生と地域形成	2.14	26	3.38	27
31	03-02-02	公共交通ネットワークの再構築	2.09	32	3.59	15
32	03-02-03	住環境の整備	2.14	27	3.34	28
33	03-03-01	商工業の振興	2.00	34	3.45	25
34	03-03-02	農林水産業の活性化	2.16	24	3.53	21
35	03-03-03	就労支援と働き方の見直し	1.72	40	3.58	16
36	03-04-01	再生可能エネルギーの活用	2.13	28	3.66	10
37	03-04-02	循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化	2.57	11	3.78	5
38	03-05-01	行財政改革の強化と持続可能な都市経営	1.87	39	3.62	12
39	03-05-02	公共施設マネジメントの推進	1.91	38	3.60	13
40	03-05-03	開かれた市政の推進	2.43	16	3.42	26
		平均	2.36	—	3.48	—

満足度と重要度の関係（市民モニタリング結果）



（５）施策配下の事務事業評価結果

- ・当該施策の配下に属する事務事業の総合評価結果の内訳を表示
- ・評価対象事業数及びその事業費の表示
- ・評価対象外の事業数及びその事業費の表示
- ・平成２９年度の総事業費（決算額）の表示

※ 上記項目の内、事業費に含まれる人件費は、正規・嘱託・臨時職員の各々の平均給与に職員工数を乗じて算出した。

（６）評価

各施策に設定した各年度における目標値に対する実績値を基に達成率を算出し、４段階（順調、ほぼ順調、やや不調、不調）で評価した。

●達成率に基づき、下記の区分で評価

達成率	評価
90%以上	順調
75%以上 90%未満	ほぼ順調
60%以上 75%未満	やや不調
60%未満	不調

（７）評価コメント

上記の評価や施策配下の事務事業の取組状況等を踏まえ、総合的な評価や課題、今後の取り組みや施策の方向性等について主管部局のコメントを掲載した。

5 平成30年度施策評価結果について（平成29年度実施施策）

（１）施策評価結果一覧表

【※評価欄の表示は、◎：順調、○：ほぼ順調、△：やや不調、×：不調 を示す。】

方針		政策		施策		施策所管所属		評価
番号	基本方針	番号	基本政策	番号	施策	所属コード	所属名称	
1	子どもあから高年齢者までが創り輝まいて	1	子どもの未来が輝くまちにします	1	子育て環境の充実	1406	子ども家庭課	◎
				2	出産から育児への切れ目のない支援	1402	健康推進課	◎
				3	いじめ対策の推進	1169	いじめ対策推進室	◎
				4	子どもを守る仕組みの充実	1407	子ども家庭相談室	◎
				5	子どもの教育の充実	2402	学校教育課	◎
		2	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします	6	高齢者の福祉・介護の充実	1437	長寿政策課	◎
				7	障害者福祉の充実	1408	障害福祉課	◎
				8	安定した社会保障制度の運営	1403	保険年金課	○
		3	生き生きと健康に過ごせるまちにします	9	健康増進と地域医療の充実	1440	保健総務課	◎
				10	保健衛生の確保	1441	衛生課	○
				11	学校給食を始めとする食育の推進	1441	衛生課	◎
				12	生涯学習の推進	2403	生涯学習課	○
				13	青少年の健全育成	1119	文化・青少年課	◎
		4	つながりを大切にし、ともに支えあうまちにします	14	市民活動と協働の推進	1130	自治協働課	◎
				15	人権の尊重と平和社会の実現	1006	人権・男女共同参画課	◎
				16	女性が活躍する社会の実現	1006	人権・男女共同参画課	×
				17	大学連携の推進	1001	企画調整課	◎
2	自然、多くの歴史、人が文化、スポーツを重視し、	5	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします	18	オンラインワンを活かした国内外からの誘客の推進	1604	観光振興課	◎
				19	多文化共生・国際交流の推進	1616	インバウンド・国際交流室	◎
		6	自然豊かな景観を守り育て、自然と共生するまちにします	20	琵琶湖を始めとする自然環境の保全	1121	環境政策課	△
				21	環境教育の推進	1121	環境政策課	◎
		7	悠久の歴史と文化を大切にし、次代に継承します	22	歴史・文化遺産の保全・発信	2406	文化財保護課	◎
				23	湖都にふさわしい景観づくり	1303	まちづくり計画課	◎
		8	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします	24	スポーツの普及・振興	2405	市民スポーツ・国体推進課	○
				25	文化・芸術に親しめる環境づくり	1119	文化・青少年課	◎
		3	安心、快適に住み続けることができる	9	安心、安全に暮らすことのできるまちにします	26	災害に強いまちづくりの推進	1223
27	防犯力の向上と生活安全の推進					1130	自治協働課	◎
28	消防・救急体制の充実					2301	消防総務課	◎
29	ライフラインの確保					2808	経営戦略課	◎
10	コンパクトで質の高い持続可能なまちにします			30	都心エリアの再生と地域形成	1303	まちづくり計画課	○
				31	公共交通ネットワークの再構築	1303	まちづくり計画課（交通戦略室）	◎
				32	住環境の整備	1810	住宅課	◎
11	経済が活性化し、元気なまちにします			33	商工業の振興	1601	商工労働政策課	◎
				34	農林水産業の活性化	1605	農林水産課	○
				35	就労支援と働き方の見直し	1601	商工労働政策課	◎
12	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにします			36	再生可能エネルギーの活用	1121	環境政策課	◎
				37	循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化	1703	廃棄物減量推進課	◎
13	徹底した行財政改革を進め、確かな都市経営を進めます			38	行財政改革の強化と持続可能な都市経営	1227	行政改革推進課	◎
				39	公共施設マネジメントの推進	1228	公共施設マネジメント推進課	◎
				40	開かれた市政の推進	1209	市政情報課	◎

(2) 施策評価シート

施策1 平成30年度 施策評価シート

所管部	福祉子ども部		所管課	子ども家庭課
施策名	01	子育て環境の充実		

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります
	基本政策	01	子どもの未来が輝くまちにします

<2. 施策概要>

課 題	少子化や核家族化の進行、保護者の働き方の多様化、女性の更なる活躍推進などにより、保育サービスなどの子育て支援に対するニーズが多様化する一方で、地域でのつながりの希薄化等を背景に、誰にも相談できず子育てに不安を抱く親も少なくない。
目 標 と す る 姿	“待機児童ゼロ”を始め、保育・幼児教育及び児童クラブの「量」の確保と「質」の向上により、若い世代が喜びを持って安心して子育てをし、子どもが健やかに成長することができる「子育てするなら大津」と言われる環境が整っている。
視 点	1 保育・幼児教育、児童クラブの「量」の確保と「質」の向上 2 市立幼稚園3年保育の実施等、幼児教育の充実と規模の適正化 3 子ども・子育て支援事業の総合的・計画的な推進

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目		単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	待機児童数	人	0.00	0.00	0.00	-	-	-
2	3年保育の実施率	%	0.00	100.00	28.00	-	-	-
3	地域子育て支援拠点利用者数	人／年	148632.00	157000.00	144025.00	-	-	-

<4. 市民モニタリング結果>

	施策値	総合順位
満足度	2.54	12
重要度	3.91	1

◆評価【 1:満足、2:ほぼ満足、3:あまり満足でない、4:満足でない、5:わからない 】

◆評価【 1:重要、2:ほぼ重要、3:あまり重要でない、4:重要でない、5:わからない 】

◆市民モニタリングでの主な意見

・保育園はあっても保育士が不足していて、定員まで受け入れていない保育所がある。保育士の給料が低くハードで辞めていかれる先生も多い。
・保育士の不足は切実、又、児童クラブは私立(民間)のものも増えてきているが、十分だとは思えない。児童クラブの環境の充実も望みます。
・保育士の質の向上
・病児保育の可能な保育所の存在を知らない。育児休暇(1年)中だと、早期就業開始の実績がないとあずかってもらえない。
・認定こども園を確保してほしい。
・保育士、児童クラブ指導員の確保はぜったい必要。保育所や児童クラブの数だけでなく人材の充実が急務。私は、保育士だが、人の命をあずかる激務であるにもかかわらず、給料が安すぎます。仕事はやりがいだけではやっていけません。
・保育園も幼稚園も、先生の数が絶対的に少ない。法律的な先生の数は確保されていると思うのですが、「質」の面を考えるならば、先生の数の増員、施設の充実、保育時間の延長をお願いできればと思います。また、市は園に対して定期的に視察点検、保護者の声の調査をして頂ければ、さらに良くなるように思います。
・児童クラブの入所の条件としての労働時間を短くして欲しい。小6までは1人留守番禁止令(オーストラリア)など導入。子供が1人で家にいることで熱中症、不信者から守る手助けを希望します。
・出産等を機に京都等から大津の方が保育所に入りやすいと転居されている人がおられると聞いている。若い人が住むのには重要な点だと思います。
・保育士が不足している。また保育士賃金が改善されずやめていく人もいる。結果 残された保育士への負担が増え、十分な子どもへの支援ができない。女性が働きやすい環境づくりの最優先事項だと思う。

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		平成29年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
23	0	2	0	25	4,867,561	19	9,379,290	14,246,851

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
◎			

<6. 評価>

◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

平成29年度	指標成果のうち、待機児童数については、平成27年度から3年連続で待機児童0を達成し、幼稚園の3年保育の実施率についても着実に上昇している。地域子育て支援拠点利用者数についても目標値よりは若干下回ったものの多くの方に利用していただき、総合的にみて順調に子育て環境の充実が図られている。 また、施策配下の事務事業についても、民間保育所施設の整備や病児・病後児保育事業、放課後児童健全事業、市立幼稚園3年保育推進事業、児童館運営事業、ファミリーサポートセンター運営事業といった子育て環境の充実に大きく関係する事業については、すべて総合評価が高い結果となり、こうした事業の取組を更に推進することによって、子育て環境の充実を図っていく必要がある。
--------	---

施策2 平成30年度 施策評価シート

所管部	健康保険部保健所		所管課	健康推進課
施策名	02	出産から育児への切れ目のない支援		

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります
	基本政策	01	子どもの未来が輝くまちにします

<2. 施策概要>

課 題	出産に関わる年代の人口減少に加え、女性の社会進出やライフスタイル及び価値観の多様化、若い世代の雇用への不安、子育てに対する心理的・経済的な負担感などさまざまな要因により、少子化が進んでいる。
目 標 と す る 姿	子どもを産み育てることへの不安を軽減するための支援体制が充実し、生き生きと育児・家事に取り組み、若い男女が希望を持って子どもを安心して産み育てられる環境が整っている。
視 点	1 出産前からの切れ目のない支援(妊娠・出産・子育て) 2 男性の育児・家事への参画

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目		単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	乳児家庭全戸訪問事業実施率	%	94.90	100.00	97.06	-	-	-
2	妊婦健康審査受診券利用率	%	84.30	100.00	84.50	-	-	-
3								

<4. 市民モニタリング結果>

	施策値	総合順位
満足度	2.25	22
重要度	3.69	7

◆評価【 1:満足、2:ほぼ満足、3:あまり満足でない、4:満足でない、5:わからない 】

◆評価【 1:重要、2:ほぼ重要、3:あまり重要でない、4:重要でない、5:わからない 】

◆市民モニタリングでの主な意見

・男性の保育・家事への参画は少子化を止める鍵だと思うが、現状難しいところも多い。企業の意識を変えるのも重要。
・不妊治療支援を充実して欲しい(助成金等)
・男性の育児休暇というような特別なとりあげかたはほしくない。両性がやって当然となるように社会全体がなるように願う。
・「ハッピー育Men」というものは全く聞いたことがなかった。
・男性が仕事、女性は子育てという時代は古いと思う。私も含めて男性も子育てに参加するべき。また、女性も会社でも、仕事に甘えずに男性とおなじように仕事の責任を果たさないと会社でも、男性の子育ては通じない。
・出産経験がないからわからないが出産中の代用人員をしっかりと充実させる必要がある。男性の育児が必要になっていると思うが、そのためには、男女が同様の仕事をして男性が休みを取っても問題ないと言う状態にならないといけない。
・役所の実体は？(育体)育男の権利は守られているか実施実体を市民に公表してほしい。
・ハッピー育Menの取り組みはよいと思う。それを民間企業等にどんどん広めてほしいと思います。
・子ども医療費助成の拡大(義務教育終了まで)
・ファミリーサポートの利用をもっと身近なものにして欲しいです。定期検診(乳幼児)の場で窓口を作るなどはどうでしょうか？
・不妊治療支援の助成金で、年収の制限があり、それ以上になるといきなり0になるのが、少し不満でした。段階をふんで頂けると嬉しい。年収700万→0

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		平成29年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
11	1	1	0	13	1,835,778	3	5,728,004	7,563,782

<6. 評価>

◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
◎			

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

平成29年度	指標1 乳児家庭全戸訪問事業実施率は、目標値に対する実績値は97.1%であり、経年でも徐々に目標値に近づいており、順調であると評価する。また、指標2 妊婦健康審査受診券利用率も目標に対する実績値は84.5%であり、目標達成に向け順調であると評価している。このことから、当該施策については、概ね計画どおりに進捗していると評価しており、今後についても、これまで同様に主な取組事業をはじめ施策配下の事務事業を推進していく。
--------	--

施策3 平成30年度 施策評価シート

所管部	市民部		所管課	いじめ対策推進室
施策名	03	いじめ対策の推進		

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります
	基本政策	01	子どもの未来が輝くまちにします

<2. 施策概要>

課 題	本市において、平成23年にいじめを受けた中学生が自ら命を絶つという事件が起こった。このような悲しい事件を二度と繰り返さないため、いじめの防止・解決に向けた総合的ないじめ対策の推進が重要である。
目 標 と す る 姿	家庭や学校だけでなく、地域も含めていじめ等から一人一人の子どもを見守る環境のもとで、子どもたちが安全で安心して生活し、教育を受けている。
視 点	1 いじめ対策の推進

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目		単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	いじめが収束した割合	%	99.70	100.00	98.40	-	-	-
2	前学年の時にいじめを受けなかった子どもの割合	%	66.10	71.10	69.90	-	-	-
3								

<4. 市民モニタリング結果>

	施策値	総合順位
満足度	2.09	33
重要度	3.69	8

◆評価【 1:満足、2:ほぼ満足、3:あまり満足でない、4:満足でない、5:わからない 】

◆評価【 1:重要、2:ほぼ重要、3:あまり重要でない、4:重要でない、5:わからない 】

◆市民モニタリングでの主な意見

・多方面からの対策をされていることは理解していますが、根深い問題であると思います。引き続き対応してくださることを望みます。
・命を絶つ程のいじめが実際に起こっている状況は本当に悲しいですし、市がそれを全て把握するの不可態ではあるが、もっと学校との連携を取っていく。
・いじめがおきた中学校を卒業しましたが、中学校ではいじめ対策は十分にできていたと思う。
・いじめ対策が天津市の目玉施策であるように見られている。
・私は生涯学習センターの「あすくの大津」のボランティアに参加するためにその職員に話をうかがいました。そこは問題のある少年、少女が通い支援を行うという施設です。しかし、その職員が強い言い方をすれば通わなくなった子は放っておくという話をされていました。そういった姿勢でこういった問題が改善されるはずがない。もう一度こういった取り組みについてしっかりと見直していただきたい。
・何よりも、いじめが防止されることが大切。これは、学校の先生だけでなく、外部の講師も巻き込んで取組むべきでは、あまりにも悪質なケースでは警察介入もすべき。
・電話だけでなく、インターネット(メール)でも相談できるようにしてほしいです。子どもにとったら、電話はハードルが高いと思います。
・子供のいじめはなくならない。なくせないと思う。しかし、いじめにきづける周りの大人がいることが大事。見て見ぬフリができないような対策がほしい。
・定期的なクラス状況のアンケート調査等が実施されているようですが、一定の対策はとられていると思います。しかし、まだまだ先生によって、いじめに対する温度差があるように感じます。せっかくのアンケートが生かされていない現状もあるようです。先生の眼前で行われるいじめは無く、休み時間やスマホ等目に見えないところで行われることが殆んどです。"見張る"のではなく、休み時間にも先生が教室・ろう下・トイレを見守ったり、放課後のパトロール等は有効だと思うのですが、そのためには十分な先生の数が必要です。今、がんばっておられる先生たちの負担を増やすのではなく、見守り・パトロール・相談等に専念できる先生の数の増員をお願いします。

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		平成29年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
2	1	0	0	3	330,531	1	8,715	339,246

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
◎			

<6. 評価> ◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

平成29年度	施策配下の事務事業は、児童生徒支援課といじめ対策推進室との事業があり、それぞれの施策に対する平成29年度の目標値と実績値は、①いじめが収束した割合は、目標値100%に対して、実績値98.4%であり、1.6%減となり、②前学年の時にいじめを受けなかった子どもの割合は、目標値68%に対して、実績値69.9%であり、1.9%増となり、指標における目標値は概ね達成していることから、順調に取組を推進していると評価している。 また、事務事業の主な取組のうち、いじめ対策推進室のいじめ対策推進事業及び児童生徒支援課のいじめ対策充実事業については、計画通り事業を進めることが適当と評価し、いじめ対策担当教員・生徒指導協同推進教員配置事業は教員の配置体制の見直しの検討など、事業をより効果的に進めるための改善が必要である。 今後も、効果的な事業となるよう改善しながら、市長部局と教育委員会の協力・連携のもと、総合的、計画的にいじめ対策に取り組んでいく。
--------	---

施策4 平成30年度 施策評価シート

所管部	福祉子ども部		所管課	子ども家庭相談室
施策名	04	子どもを守る仕組みの充実		

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります
	基本政策	01	子どもの未来が輝くまちにします

<2. 施策概要>

課 題	核家族化や地域のつながりの希薄化により、地域社会及び家庭の教育力並びにコミュニケーション能力が低下し、子育て世代が孤立するケースが増え、児童虐待、子どもの貧困等の問題がある。
目 標 と す る 姿	心身の健全な成長を育み、全ての子どもが大切にされながら育つ。
視 点	1 子どもの人権の尊重 2 子どもの貧困対策 3 一貫した子どもの発達支援

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目		単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	子育て支援プログラム・児童虐待防止研修の参加者数	人	1088.00	1200.00	1234.00	-	-	-
2	子どもの居場所づくり箇所数(寺子屋プロジェクト)	箇所	18.00	36.00	23.00	-	-	-
3	発達支援療育事業利用者(登録者)数	人	102.00	120.00	116.00	-	-	-

<4. 市民モニタリング結果>

	施策値	総合順位
満足度	2.13	30
重要度	3.74	6

◆評価【 1:満足、2:ほぼ満足、3:あまり満足でない、4:満足でない、5:わからない 】

◆評価【 1:重要、2:ほぼ重要、3:あまり重要でない、4:重要でない、5:わからない 】

◆市民モニタリングでの主な意見

・せっかく生まれた命を親が守れないのは残念。親が大人になっていない。
・こども食堂(東京とかであるもの)があるといいと思う。
・誰か相談できる人を1人以上作っておくべきだと思う。1人で何もかも考えない。
・別に、公立学校で、人間関係に悩んだり、安全が確保されそうにないなら、フリースクールでも、勉強ができることも、ひとつの手段では、それを後押すのも市の役割では。
・核家族化がすすんでいる上、共働きの夫婦も多いので、周囲の働きかけがとても重要だと思います。児童虐待や不登校など、自分がもしかしらしてしまふ。自分の子どもがそうになってしまう可能性も0ではないので、ある程度の強制力をもってほしいと思います。
・身近な人で話を聞かないが、虐待が起きる状況が同じような気がする。もっとカウンセリングするのも本人だけでなく回りも含めて行う。
・学校との連携が欠かせないと思います。それこそ、市役所だけでなく地域の人々の力をかりてすすめていくべき事業だと思う。どのように学校、地域の方々と連携をとっているのでしょうか？私はこういう事にとても関心があるのですが、私のものにはこういう情報一切入ってきません。本当に取組をしているのか疑問です???
・子どもの人権は大人の人権とつながっていると思いますので、家庭教育の充実につきます。
・特別支援教育の推進のためには、ぜひ教員・カウンセラーの増員をお願いしたいです。
・小学校内の学習遅延児童に対する放課後教室が予算の都合でなくなりました。普通学級の児童数(1クラス当たり)を減らして指導が行き届くよう改革改善を希望します。
・毎回同じような施策しか感じられません。見直し再評価はしていますか？発達障害の児をもつ母、父の話をきいたことはありますか？本当に対応の充実を図りたいなら、現場の声をきく手段を検討して下さい。自主グループの作成、乳健でアンケート作成評価することなど！

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		平成29年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
13	2	0	0	15	981,844	0	0	981,844

<6. 評価>

◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
◎			

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

平成29年度	子育て支援プログラム・児童虐待防止研修関係では、平成29年度の目標値に対する実績値は1,234人で112%の達成率であり、平成29年度の取り組みは順調である。子どもの居場所づくり関係では、長期休暇中等の学習支援居場所づくり(寺小屋プロジェクト)として、学区社会福祉協議会をはじめとする地域の協力を得ながら実施しており、年度毎の目標値に対して、平成29年度の実績値は23箇所、100%の達成率であり、ここまでの取り組みは順調である。発達支援療育事業では、発達障害児やその可能性のある子どもに対しより丁寧な支援を必要としている子どもと捉え、保護者や子どもと積極的なかわりに努めている。親子で主体的に療育に参加してもらうことができ、平成29年度の目標値120人に対する実績値は116人で96%となり、指標の目標値達成に向け概ね順調であると評価しており、今後も、子どもの育ちに応じた支援の充実を図るとともに、切れ目のない支援ができるよう連携していく。また、施策配下の他の事務事業についても概ね計画通りに推進しており、今後も引き続き主な取組事業をはじめ施策配下の事務事業を推進し、心身の健全な成長を育みながら全ての子どもが大切にされ育つように施策を進めていく。
--------	---

施策5 平成30年度 施策評価シート

所管部	教育委員会		所管課	学校教育課
施策名	05	子どもの教育の充実		

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります
	基本政策	01	子どもの未来が輝くまちにします

<2. 施策概要>

課 題	人のつながりの希薄化や核家族化を始めとする地域社会及び家族の変容、社会経済のグローバル化の進展、情報通信技術の発達などに伴い、子どもたちの学びを取り巻く環境も変化しており、教育に求められる役割はますます多様化及び高度化している。
目 標 と す る 姿	学校、家庭及び地域がそれぞれの役割を果たし、互いに密に連携し、社会全体で子どもの成長を促す環境が整っている。その下で、子ども一人一人の発達過程を踏まえた教育が行われ、学びの意欲が高まり、社会的自立に向けた基礎的及び基本的な資質や能力が育まれている。
視 点	1 次代を生き抜く力の育成 ～将来の夢を広げる学力の向上～ 2 社会のグローバル化に対応する人材の育成 ～英語教育の充実～ 3 学校・教育委員会の改革・充実

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目		単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	子どもによる学校評価アンケートの総合的な平均値	ポイント	2.33	2.55	2.31	-	-	-
2	保護者による学校評価アンケートの総合的な平均値	ポイント	2.25	2.55	2.22	-	-	-
3								

<4. 市民モニタリング結果>

	施策値	総合順位
満足度	1.97	37
重要度	3.53	20

◆評価【 1:満足、2:ほぼ満足、3:あまり満足でない、4:満足でない、5:わからない 】

◆評価【 1:重要、2:ほぼ重要、3:あまり重要でない、4:重要でない、5:わからない 】

◆市民モニタリングでの主な意見

・方向性が違うような気がする。まずは、道徳、思いやり、思考力の強化といったところが、大切なような気がします。

・人間性の教育はできているかどうか疑問。英語は会話重視がいいと思う。

・教職員の方のさまざまな意識改革をお願いします。

・英語は早い時期からはじめた方がよいと思う。

・自然について学習する環境は整っていたと思う。学力については、他の県に比べて低いのが気になる。

・今の状況が維持できると良いと思う。小学校からの英語授業は良いと思う。

・今の状態では英語教育が充実しているとは思えない。交換留学など海外の人と交流できる場を増やしてほしい。

・教員1人あたりの仕事が大きくなり質の低い教育になってしまう。教育現場の職務の分担をそこそこ軽減していく必要がある。

・「危機管理能力」を身につけさせる教育すべき。Ex.人間関係での対策とか、犯罪から身を守るのこととか

・子どもの英語教育より前に先生の英語教育をもっと充実していくべきだと思う。

・教職員の体制が整っていない(人員不足)

・中学校一年生でやっている内容を小学校の初期から初めることにより、英語が苦手になる子どもが減ると思います。

・小学校教員の英語カスルアップのフォローがない。教え方だけでなく小学校、特に40代50代管理職へのスキルアップ研修が必要ではないか。オールイングリッシュで授業できる教員で子どもの発達段階がわかっている教員が少ない。ALTまかせのオールイングリッシュ事業に金を使うなら、小学校教員全員に年3回以上の英語研修を受講すると、教員自身の英語力upに力を注ぎ小学校英語がわかれば、中、高も必然的に変わってくると思います。

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		平成29年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
19	7	2	0	28	1,424,821	31	3,168,522	4,593,343

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
<6. 評価>	◎			

<6. 評価> ◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

平成29年度	施策配下の各事務事業は、概ね計画通りに推進されている。国際理解推進事業における日本語指導員の人員確保や心臓検診事業における川崎病検診の簡素化等、一部の事業については内容を見直し、施策目標の達成に向けて取り組んでいく。また、指標「子どもによる学校評価アンケートの総合的な平均値」は2.31で91パーセントの達成率である。また、指標「保護者による学校評価アンケートの総合的な平均値」は2.22で87パーセントの達成率である。従って、評価としては順調である。
--------	--

施策6 平成30年度 施策評価シート

所管部	健康保険部		所管課	長寿政策課
施策名	01	高齢者の福祉・介護の充実		

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります
	基本政策	02	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします

<2. 施策概要>

課 題	今後、高齢者の中でも特に75 歳以上の人口増加が顕著になり、単身高齢世帯数、高齢者のみの世帯数及び認知症高齢者数の増加が深刻化し、高齢者福祉の重要性は更に高まっている。
目 標 と す る 姿	高齢になっても住み慣れた地域で、健康で生きがいを持って自立した日常生活を営んでいる。また、地域の中で支え合い、医療や介護の支援が包括的に確保される体制が整って、在宅医療と介護の連携が充実している。
視 点	1 高齢者が元気で活躍する暮らしの推進 2 地域包括ケアシステムの構築 3 在宅医療の充実

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目		単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	在宅療養を実現できると考える市民の割合	%	18.30	30.00	20.30	-	-	-
2	認知症サポーター養成講座受講者数	人	15549.00	24500.00	19445.00	-	-	-
3	介護予防に取り組む市民の数(健康いきいき講座受講者数)	人	1377.00	1600.00	1688.00	-	-	-

<4. 市民モニタリング結果>

	施策値	総合順位
満足度	2.34	20
重要度	3.56	18

◆評価【 1:満足、2:ほぼ満足、3:あまり満足でない、4:満足でない、5:わからない 】

◆評価【 1:重要、2:ほぼ重要、3:あまり重要でない、4:重要でない、5:わからない 】

◆市民モニタリングでの主な意見

・高齢者が健康に生きられるような施策(スポーツ、文化面など)を行政の立場から推進してください。民間事業者(例としてスポーツクラブ等)の連携・支援を考えてください。
・要介護前の対策や取組み・施設の充実を望みます。
・町からはなれた地域の高齢者に対する医療機関の充実(医療機関への足等)
・高齢者を支える側(家族)に対するサービス充実すればよいと思う。
・高齢者はどんどん増えていくので、ボランティアでもいいので、働く場所も提供してほしいです。(城跡案内とか?)
・高齢者でも教育を受けられる環境が少ないように思う。シニア大学のようなものがないように思う。
・健康寿命を伸ばすの最優先です。場所作り、指導者の養成、自分の足で行ける場所の整備が必要です。高齢者、また若年性の方の受け皿となる場を介護施設でなく、気軽に休づりをする場が必要です。
・高齢者が多くなる一方なので重要。しかし、それを手助けする人たちが少ない。手助けする人の保障をしっかり。
・滋賀県特に大津市に、セカンドライフを送ろうと地方から高齢者の方々が集まってくるほどですし、それに、介護サービスも充実していると思います。
・生きがいはいくつになっても大事だと思う。高齢者の社会こうけんも重要だと思う。お仕事等(高齢者雇用)
・介護保険での活用が進んでいるように思われるが、介護が必要になる前。高令者の仲間づくり等が少ないと思います。
・高齢者も働ける様にする。
・介護で休みにくい職場環境 また若者たちへのいつか誰かがうけおおうことと教育で伝えていくべきではないか。

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		平成29年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
25	2	3	1	31	1,488,869	47	25,294,746	26,783,615

				平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
＜6. 評価＞				◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】	◎			

施策7 平成30年度 施策評価シート

所管部	福祉子ども部		所管課	障害福祉課
施策名	02	障害者福祉の充実		

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります
	基本政策	02	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします

<2. 施策概要>

課 題	障害のある人の高齢化・重度化とともに介護者の高齢化が進む中において、障害者を介護する環境が厳しくなっている。一方で、障害のある人が必要とする支援や社会参加へのニーズは多様化しており、市民一人一人の障害に対する理解と適切な配慮が求められている。
目 標 と す る 姿	障害の有無にかかわらずに健常者と同様の生活と活動（ノーマライゼーション）を行い、社会から孤立や排除をされずに、それぞれの存在と役割を有する（ソーシャル・インクルージョン）中で、誰もが身近な地域で心豊かに暮らしている。
視 点	1 障害者の就労支援の推進 2 障害福祉サービスの充実

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目		単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	働き・暮らし応援センターを通じて、一般就労に移行した障害者数	人／年	81.00	90.00	82.00	-	-	-
2	障害福祉に関する延べ相談件数	件／年	31240.00	37488.00	35448.00	-	-	-
3								

<4. 市民モニタリング結果>

	施策値	総合順位
満足度	2.24	23
重要度	3.50	24

◆評価【 1:満足、2:ほぼ満足、3:あまり満足でない、4:満足でない、5:わからない 】

◆評価【 1:重要、2:ほぼ重要、3:あまり重要でない、4:重要でない、5:わからない 】

◆市民モニタリングでの主な意見

・障害者といういい方そのものが、区別していると思います。能力のある人を企業が採用しやすい環境を作ることが早いのでは・・・ 外国では障害「個性」という扱いをしている。

・引きこもり等の年齢制限からもれた人々に対する援助をもったきめ細かな対策をお願いします。

・現場職員の不足で職員個々の負担が大きくなっている。何とかしてあげて欲しい。

・障害者の代理で何かをする場合、代理の証明が煩雑で労力をさかれて不満。

・大学などで障害者支援ボランティアのポスターをよくみかけるので、取り組みが市民に行き届いている。

・障害者の方を健常者と同じステージに立つまでの支援は良いが、過剰な支援は自立を妨げる。

・障害者と接する機会が多いですが、まだまだ十分ではなく、大津市以外の市や県に情報や提供を求めているのが現状です。

・大津市に高等養護学校の新設を早急をお願いします。高等養護学校は、県内では、長浜、愛知、甲南のみしかなく、大津在住の進学希望者は片道1時間40分以上の時間をかけて通学しなければならない状況にあります。同年代の健常者と近くで学ぶ高等養護学校の意義は貴重です。しかし、その距離の遠さから、進学をあきらめる生徒もたくさんいます。また、知的障害者を、公機関で多く採用してほしいです。民間の福祉枠で採用も増えてきていますが、不合理的な労働環境があっても、知的障害者はなかなか声をあげることができません。どうか、声を上げる力の弱い知的障害者を大津市が多く採用することで、様々な雇用形態のモデルを提供してほしいと願っています。

・障害者が1人で生活できる賃金水準になっていない。

・自立支援(1割負担)を受けている者対象に就業支援を希望。A型、B型までゆかない症状の精神病者。例えば発達障害者 作業所のサポートを受けたいです。

・市が取り組むよりも企業が取り組んでもらう。障害者就職率1.2%だったと思う・・・企業に対して市が何かしらの支援をするべき

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		平成29年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
18	2	0	0	20	8,108,863	14	1,262,399	9,371,262
								平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度
								◎

<6. 評価> ◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

平成29年度	本指標「働き・暮らし応援センターを通じて、一般就労に移行した障害者数」については、本年度の実績は82人であり、平成29年度の目標に対して96％の達成状況であったことから、評価としてはほぼ順調である。また、本指標「障害福祉に関する延べ相談件数」については、本年度の実績は35,448人であり、平成29年度の目標に対して106％の達成状況であったことから、評価としては順調である。これらを総合的に判断して、進捗評価は順調としている。 施策配下の事務事業のうち、主な取組事業は概ね計画どおり進んでいるが、指標における目標達成率がやや低い事業もある。それ以外の施策を構成する事務事業についても、概ね、計画どおりに進んでおり、今後も、これまでと同様に主な取組事業をはじめ、施策配下の事務事業を着実に推進していく。
--------	---

施策8 平成30年度 施策評価シート

所管部	健康保険部	所管課	保険年金課
施策名	03	安定した社会保障制度の運営	

＜1. 基本情報＞

実行計画体系	基本方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります
	基本政策	02	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします

＜2. 施策概要＞

課 題	少子高齢化や雇用状況の変化など、社会経済情勢が厳しくなる中、医療、介護、福祉等の社会保障制度が担う役割は、ますます大きくなる一方、財政負担の増大から、将来にわたっての持続可能な制度の運営が課題となっている。
目 標 と す る 姿	健全財政の下、安定的な社会保障制度が運営され、必要とする人が安心して支援を受けることのできる制度が構築されている。
視 点	1 生活の安心を支える支援 2 自立支援の推進

＜3. 成果指標＞

指標					実績値			
項目		単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	特定健康診査受診率	%	37.00	44.00	37.00	-	-	-
2	自立支援プログラム達成者数	人／年	326.00	350.00	407.00	-	-	-
3								

＜4. 市民モニタリング結果＞

	施策値	総合順位
満足度	2.13	29
重要度	3.53	19

◆評価【 1:満足、2:ほぼ満足、3:あまり満足でない、4:満足でない、5:わからない 】

◆評価【 1:重要、2:ほぼ重要、3:あまり重要でない、4:重要でない、5:わからない 】

◆市民モニタリングでの主な意見

・高齢者の増加に伴い、生活の安心を支える支援が、徐々に削られる一方、費用負担が増えている現状を見直してほしい。
・自分もひとり親家庭なのですが、大津市からたくさん支援してもらい、よいことだと思う。
・「やや不満」にしたが、とりわけ「申請手続」と「時間まち」に労力が必要。改善してほしい。待っている間に情勢・状態が変わってしまうことがある。
・年金に関して学生である私はかなり不安をもっている。正直あきらめて海外移住を考えてしまう。
・現役世代の私にとって、年金が天引きされるのは正直つらい。他方、働けるのに、年金で生活している者がいると腹立たしく思う。
・障害を持つ人・その家族に対して、もっともっと情報提供をお願いしたいと思います。例えば、療養手帳等を取得すると同時に厚い冊子が送付されますが、その冊子には様々なサービスや支援の情報がたくさん掲載されているのですが、その情報を障害者（特に知的）。どれだけ読み取り利用することができているのでしょうか。おそらく利用できていないままのサービスや支援や控除があるのではないかと思います。なので、行政はもっともっと関わっていくべきだと思います。市の方で手帳を発行した人・家庭や高齢者や生活困窮者に対して電話・訪問等をくり返して、本来うけられるべきサービスや支援からめれる人がないようにお願いをしたいと思います。
・老後への不安が多い。
・無料定期健診は働かなくなって職場の検診がなくなったものには大いに助かっている。保険料が高くなっていくが…。「公」の場に話をしにいたり、相談にいたり遠慮せず行けるように。
・将来が不安です。生産年齢人口が少ない。将来の日本を次世代から次次世代までのことを考えている人が少ない。

＜5. 施策配下の事務事業評価結果＞

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		平成29年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
19	7	3	1	30	4,928,956	59	49,972,969	54,901,925

＜6. 評価＞

◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
○			

＜7. 評価コメント＞ 評価及び方向性

平成29年度	自立支援プログラム達成者数は目標値を実績値が上回っている。 特定健康診査受診率については、目標の60%は達していないが、当該目標は国の最終目標として掲げられた数字であり、滋賀県の平均受診率（38%）とほぼ同程度の実績となっている。 以上のことから、平成29年度の取組は、ほぼ順調であると評価している。 今後も、安定した社会保障制度の運営を継続するため、各事務事業の更なる進捗を図る。
--------	--

施策9 平成30年度 施策評価シート

所管部	健康保険部保健所	所管課	保健総務課
施策名	01	健康増進と地域医療の充実	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります
	基本政策	03	生き生きと健康に過ごせるまちにします

<2. 施策概要>

課 題	健康寿命を伸ばし、生涯にわたって生き生きと暮らすためには、市民一人一人の心身の健康状態が良好であることが不可欠である。また、市民のニーズの多様化、子どもの健やかな成長、高齢化の進行等に対応できる地域医療の充実が求められている。
目 標 と す る 姿	市民一人一人が自らの健康を大切にして、ライフステージに応じた健康づくりに取り組んでいる。また一方で、必要なときには身近で良質な医療を受けることができる医療連携体制が整っている。
視 点	1 健康づくり活動の促進 2 地域医療の充実

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目		単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	健康寿命(平均寿命と健康寿命との差):男性	年	1.78	1.78	2.04	-	-	-
2	健康寿命(平均寿命と健康寿命との差):女性	年	3.86	3.86	4.04	-	-	-
3	在宅医療の利用者数	人	1793.00	2500.00	1997.00	-	-	-

<4. 市民モニタリング結果>

	施策値	総合順位
満足度	2.70	8
重要度	3.57	17

◆評価【 1:満足、2:ほぼ満足、3:あまり満足でない、4:満足でない、5:わからない 】

◆評価【 1:重要、2:ほぼ重要、3:あまり重要でない、4:重要でない、5:わからない 】

◆市民モニタリングでの主な意見

・健康寿命を伸ばすことが保険制度を守ることにつながる ・"自称うつ"で仕事を休む人が多い。診断書1枚で終わりでなく、後々のケアも必要。(行政と事業所の連携) ・「地域医療の充実」の具体的な取組が見えない。 ・訪問看護はとても助かっています。 ・水ぎわ対策が必要、介護が必要になる前の健康への関心 ・医療体制がやや過剰に受診をすすめる傾向にあり医療費の増加をムダに助長しているように感じる。 ・健康であれば介護の必要がなくなり働く世代である子の負担が減る。 ・平日だけでなく、土祝でも、利用できるように医療機関を支援してほしい。そうすれば、受診率をもっとUPして医療費対策になるはず。 ・健康を妨げられたときに、とても重要だったことに気付きます。そのときの絶望によりそってもらえる人がいると、とてもうれしいと思います。健康を壊さない活動とそのあとを支え合う活動をもっとしてほしいです。ファミリーウォークラリーとかファミリーマラソンをしてほしいです。 ・がん対策の推進はよいと思う。地域医療でどのお医者に行けば良いのかわからないが、自分で健康づくりのために必要。 ・健康寿命を伸ばす事で、最も重要な項目です。 ・市民病院などが市が運営でなくなるのが心配。市民の意見が反映できなくなるのでは？
--

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		平成29年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
14	7	1	0	22	633,632	10	2,333,622	2,967,254

<6. 評価>

◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
◎			

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

平成29年度	指標「平均寿命と健康寿命との差」について、実績値は男性2.04、女性4.04で、達成率はそれぞれ87%と95%であった。 指標「在宅医療の利用者数」については、実績値が1,997人で、80%の達成率であった。このことから、今年度までの取り組みは順調であると評価している。施策配下の事務事業の多くが計画どおり事業を進めることが適当であると評価しており、一部事業の進め方に改善が必要と評価する事業もあるが、概ね計画どおりに取り組みが進んでいる。
--------	---

施策10

平成30年度 施策評価シート

所管部	健康保険部保健所	所管課	衛生課
施策名	02	保健衛生の確保	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります
	基本政策	03	生き生きと健康に過ごせるまちにします

<2. 施策概要>

課 題	さまざまな感染症の発生や食中毒などの健康被害への不安を払拭し、安全で衛生的な生活ができる環境が求められている。
目 標 と す る 姿	感染症や食中毒など健康危機管理の適切な対応や、食品及び医薬品の安全が確保され、営業施設の自主衛生管理が向上し、市民が安全で安心して衛生的に生活できる環境が整っている。
視 点	1 健康危機管理対策の推進 2 感染症などの健康被害の発生防止 3 食品の安全性の確保

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目	単位	基準値	目標値		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1 食中毒発生件数	件／年	2.80	0.00		4.00	-	-	-
2 前年度指導実施施設等の感染症集団発生率	%	38.10	0.00		12.00	-	-	-
3								

<4. 市民モニタリング結果>

	施策値	総合順位
満足度	3.00	1
重要度	3.60	13

◆評価【 1:満足、2:ほぼ満足、3:あまり満足でない、4:満足でない、5:わからない 】

◆評価【 1:重要、2:ほぼ重要、3:あまり重要でない、4:重要でない、5:わからない 】

◆市民モニタリングでの主な意見

・感染症などは日本ではよく抑えられていると思う。食器の安全性については、基本的に信頼している。
・現状維持でいいのかも？という考え。それに関するサービス、お知らせは早く知らせてほしい。
・日々(日常)注意すべきテーマであり、発生した時の「まん延防止」「正しい知識の共有」が必要。
・良い活動だと思う。
・食の衛生に限って、この点に関しては市の仕事ではなく、主に家庭や店の仕事であると感じた。
・学校などで例えば、インフルエンザになったら、別の部屋に移動させたりとか感染をさせない対策がいる。
・テレビなどでやっているのでも、情報の発信よりも、現状の提供(食中毒が発生しているとか)することが、今 大津で流行しているものに対しての対策をすると思います。
・保健衛生に関する情報公開不足していると思う。

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		平成29年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
13	0	0	0	13	939,026	10	140,497	1,079,523

<6. 評価>

◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
○			

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

平成29年度	食中毒事件の発生については、評価方法として、食中毒事件3件以内で順調、5件以内でほぼ順調、5件以上でやや不調、2年以上連続で5件以上発生した場合、不調とする。平成29年度に発生した食中毒事件は4件であるので評価として、ほぼ順調とした。今後は、食中毒の発生しやすい飲食店営業を中心とした監視に重点を置くとともに、発生件数の多いノロウイルス・カンピロバクター食中毒発生予防の啓発、指導を強化する。 前年度指導実施施設等の感染症集団発生率については、評価方法は0で順調、19%未満でほぼ順調、19%以上38%未満でやや不調、38%以上で不調とする。平成29年度の実績は12.0%であるので、評価としてはほぼ順調とした。保育園への指導については、幼児政策課による初期対応が体制として整っており、発生探知の初期段階から、施設に対する立入指導による細やかな指導を行っていく。 いずれの指標も目標値達成に向け、今後さらに取組事業の実績を上げるよう取組を進める。
--------	--

施策1 平成30年度 施策評価シート

所管部	健康保険部保健所	所管課	衛生課
施策名	03	学校給食を始めとする食育の推進	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります
	基本政策	03	生き生きと健康に過ごせるまちにします

<2. 施策概要>

課 題	栄養バランスの偏り、朝食欠食などの不規則な食事、エネルギーや食塩の過剰摂取、野菜不足などの食生活に起因した生活習慣病の増加など、「食」を取り巻く問題が深刻化している。
目 標 と す る 姿	市民一人一人が食育を通じて、「食」の大切さへの関心と理解を深め、健全な食生活を実践し、生涯にわたって健康で生き生きとした生活を送っている。また、子どもたちは、学校給食などによって健全な食習慣を身に付け、食文化を大切に健やかに成長している。
視 点	1 学校給食の推進 2 生涯にわたる食育の推進

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目		単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	朝食を摂食する人の割合	%	84.00	95.00	89.00	-	-	-
2	学校給食における地場産物を使用する割合	%	24.00	25.00	20.60	-	-	-
3								

<4. 市民モニタリング結果>

	施策値	総合順位
満足度	2.89	5
重要度	3.52	22

◆評価【 1:満足、2:ほぼ満足、3:あまり満足でない、4:満足でない、5:わからない 】

◆評価【 1:重要、2:ほぼ重要、3:あまり重要でない、4:重要でない、5:わからない 】

◆市民モニタリングでの主な意見

・親としても、仕事をしながら朝の弁当を作るのは大変。夏場は食中毒の不安もある。給食があると助かる。弁当の中身ですらいじめ・差別のもとになる時代。 ・学校給食の充実、ぜひ実現させてください。ただし、相当の予算が見込まれますので、徹底したマネジメント等を行ってください。 ・現状維持でいいか？給食おいしかったという印象。地産地消は学生にわかるor印象づけるようなお知らせが必要と思う。 ・私の中学は、お弁当だったので、給食のほうがバランスのとれた食事ができたのかなと思います。中学校も給食でいいかもしれません。 ・食中毒がない給食はよいことだと思う。給食で地域の文化も知ることができる。中学校でも給食を利用すべきだと思う。 ・弁当の量と量が少なすぎる人がいたり、いつもコンビニのパンを食べている人がいるので重要だと思う。地域の伝統料理を知ることができてよかった。 ・学校給食はとてもよいバランスで、食育の面でもすばらしいと思う。できるなら、各学校の給食室で作ったできたての物がよいが、そこはそれほど重要でないと思う。 ・正しい健康的な食生活は各家庭にまかせるのでは、学校給食を参考にして、各家庭に示すようにしないと、例えば親の乱れた食生活が子供にも引き継がれるから。 ・学校給食の整備のためか、トイレの整備が遅れて、和式でできない子は、家に帰るということも起きているそうです。 ・中学、高校の給食にかんしては、いる、いないどちらとも言えない。働くお母さんが増えてきている中、給食は必要とも思うが、思春期まった中の反抗期で難しい子どもとかかわれる弁当は結構重要な親子をつなぐものであるから。弁当づくりもこの時期、親が子どもとつながる唯一のものだから。 ・食育という面でも給食は重要。子供の食生活のためにも。私が中学生(約10年前)のとき、給食がなくて、親の負担がすごく大きかったのを覚えています。 ・コープやJAなど滋養は他府県とちがいが、安くて鮮度のある食材を手に入れやすい。行政と民間で一緒に考えてみたらどうですか？(スーパー、JA、農業をしている人)幼児期から身近に感じる時間をつくと良いのでは。
--

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		平成29年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
3	1	0	0	4	970,688	5	1,102,037	2,072,725

<6. 評価>

◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
◎			

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

平成29年度	指標「朝食を摂食する人の割合」については、目標値は95%で、本年度の実績は89%であり、目標値に対して94%の達成状況であったことから、評価としては順調である。 指標「学校給食における地場産物を使用する割合」については、目標値は25%で、本年度の実績は20.6%であり、目標値に対して82.4%であったことから、評価としてはほぼ順調である。 いずれの指標からも、取り組みは順調であり、これまで同様に施策目標の達成に向け取り組んでいく。
--------	--

施策12 平成30年度 施策評価シート

所管部	教育委員会	所管課	生涯学習課
施策名	04	生涯学習の推進	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります
	基本政策	03	生き生きと健康に過ごせるまちにします

<2. 施策概要>

課 題	元気な高齢者が増加し、ライフスタイルが多様化する中、市民の生涯学習に対する意欲は高まっており、そのニーズも広範囲かつ多岐にわたっている。また、自己実現のみならず、学習の成果を適切に活かすことが求められている。
目 標 と す る 姿	市民が主体的にあらゆる機会を通して学び、その学んだ成果を地域づくりに活かし地域の担い手となる人材が育成されるなど、それぞれの地域で生涯学習が活発に行われている。
視 点	1 生涯にわたって学べる環境づくり 2 地域人材の育成

<3. 成果指標>

指 標					実績値			
項 目		単 位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	熱心まちづくり出前講座参加者数	人／年	2722.00	3000.00	2303.00	-	-	-
2								
3								

<4. 市民モニタリング結果>

	施策値	総合順位
満足度	2.62	10
重要度	3.11	37

◆評価【 1:満足、2:ほぼ満足、3:あまり満足でない、4:満足でない、5:わからない 】

◆評価【 1:重要、2:ほぼ重要、3:あまり重要でない、4:重要でない、5:わからない 】

◆市民モニタリングでの主な意見

・どこで何をしているのかあまり周知されていないように思う。
 ・地元に関する資料は、図書館にたくさんある印象。その他の学問に関する資料はあまりない気がする。
 ・個人により興味の対象がまちまちなので、「職人事例」を情報提供することで市民に周知することでよい。
 ・私は草津市(となりの市)に通動しているのだが、草津市の方が無料の講座が充実している。実際、立命館大学もある。もっと無料の講座を増やすべき。
 ・教員免許をもっている(もしくはもっていないくても)教えたいけど60才以上になられた方で、ボランティアで教えるところなどあれば、収入が少ない家庭の方も利用したいと思うのではないかなと思います。
 ・生涯学習は高齢者にも必要で近い場所でのいろんな講義を受けられる環境が必要。
 ・情報が全然入ってきません。関心はあるのにその情報が入ってこないのは残念。
 ・出前講座自体の発信が必要だと思います。地域差が大きいです。
 ・図書館が不満。文化的な面不満。本屋も少ない。
 ・リーダー、サポーターがおせっかいすぎたり自己満足の人だったり。役をほっていたり、相談、意見がいいにくい。
 ・図書館はよく利用していますが、利用者も多く充実しているのではと感じています。高令者や退職者の人材活用をもっと進めると良い。
 ・シニア大学とかありますか？リタイア組の人たちがまだ学び直したい人たちをつのり、再雇用するのは介護予防にもつながると思います。

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		平成29年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
7	8	0	0	15	482,027	6	121,881	603,908

<6. 評価>

◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
○			

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

平成29年度	配下の事務事業は、計画どおり事業を進めることが適当が7事業、事業の進め方に改善が必要が8事業で、全体としては、ほぼ順調に進捗しているが、住民への周知がもっと必要である。人生100年社会を見据え、生き生きと生きがいをもって生活するため、学ぶ者同士がつながり、学習成果を生かして、地域づくりのために行動する「大津人」が育つ社会の実現に向けた生涯学習を推進する。
--------	--

施策13 平成30年度 施策評価シート

所管部	市民部	所管課	文化・青少年課
施策名	05	青少年の健全育成	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります
	基本政策	03	生き生きと健康に過ごせるまちにします

<2. 施策概要>

課 題	青少年を取り巻く環境は変化し、社会的自立の遅れや、ひきこもり、有害情報の氾濫などにより、青少年が人間関係や将来に不安を感じている。
目 標 と す る 姿	次代を担う子ども・若者が、自己を確立していく過程で社会との関わりを自覚しながら健やかに成長し、自らの夢の実現に向かって持てる能力を活かして自立し、活躍している。
視 点	1 子ども・若者の健やかな育成

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目		単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	青少年育成学区民会議活動への参加者数	人／年	58751.00	61000.00	75861.00	-	-	-
2								
3								

<4. 市民モニタリング結果>

	施策値	総合順位
満足度	2.45	15
重要度	3.32	30

◆評価【 1:満足、2:ほぼ満足、3:あまり満足でない、4:満足でない、5:わからない 】

◆評価【 1:重要、2:ほぼ重要、3:あまり重要でない、4:重要でない、5:わからない 】

◆市民モニタリングでの主な意見

・時代が変わればニーズも変わる。その時代に則した施策が必要。 ・子供だけでなく、親の意識づけを行える体制があつてほしい。 ・地域の活動は活発で満足しています。 ・モラルやマナーを強化すべき。他府県に比べ、まだ品性は感じますが。 ・キャンプなどイベントを開催するのはよいと思います。外にでるのが好きな人、室内で活動するのが好きな人がいるので、両方のイベントがあるといい。 ・市が一般ボランティアの活動を支援する形でよい。 ・最近では野外で遊ぶ子供達が減っているように思える。あまりテレビやゲーム・パソコンをしすぎないようにすべき。 ・少なくとも高校生で将来の夢が決まっている人は少ない。もっといろいろな職業体験ができるといいと思う。 ・最近の子供は、過保護すぎるように思う。ある程度のきびしさは必要。ただ、指導者も指導と体罰は全く違うことを教育者は認識すべき。 ・体験活動に参加したいと思えるような広告、告知がないので参加できていないのが現状です。民間の方がどうしても魅力を感じてしまいます。 ・若者にかぎらず、ひきこもり等の解消するような活動が必要と思われる。 ・地域社会から孤立した家庭の若者へのフォローがもう少しあるといいなと思います。 ・情報があふれてることが悪いことではないです。その情報をえらぶべきかどうか大人が見守ってあげれば、子どもは依存しないと思う。
--

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		平成29年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
5	0	1	0	6	81,998	2	4,437	86,435

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
◎			

<6. 評価>

◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

平成29年度	本指標「青少年育成学区民会議活動への参加者数」については、平成29年度の目標値に対する実績値は75,861人であり100%達成し、指標の目標値達成に向け順調であると評価している。 施策配下の事務事業は部局横断的に展開しており、各事業の成果指標及び総合評価を踏まえ、最上位計画である新総合計画に掲げる基本方針及び施策に貢献していると評価する。 施策配下の事務事業は、概ね、計画どおりに推進されている。今後も、関連部局と連携し、各事業の効果的な実施と、さらなる充実を目指していく。
--------	---

施策14

平成30年度 施策評価シート

所管部	市民部		所管課	自治協働課
施策名	01	市民活動と協働の推進		

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります
	基本政策	04	つながりを大切にし、ともに支えあうまちにします

<2. 施策概要>

課 題	人々の価値観や生活様式の多様化により地域のつながりが希薄化する一方で、超高齢社会における見守り及び支え合い、災害時における助け合いなど、人のつながりによるあたたかい地域社会が求められている。
目 標 と す る 姿	まちへの愛着や誇りを感じて、市民一人一人が社会活動や生活の中で培ってきた豊かな知識や経験等を発揮し、主体的に地域活動を展開している。また、事業者による社会貢献活動が活発化し、多様な担い手による主体的なまちづくりが行われ、市民・市民団体、事業者及び行政の三者協働により、地域課題の解決を図っている。
視 点	1 市民活動の推進によるコミュニティの充実 2 協働のまちづくり

<3. 成果指標>

指 標					実績値			
項 目		単 位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	行政と市民・市民団体及び事業者との協働事業実施件数	件／年	105.00	130.00	114.00	-	-	-
2	(仮称)まちづくり協議会の設立数	団体	0.00	5.00	0.00	-	-	-
3								

<4. 市民モニタリング結果>

	施策値	総合順位
満足度	2.42	17
重要度	3.11	38

◆評価【 1:満足、2:ほぼ満足、3:あまり満足でない、4:満足でない、5:わからない 】

◆評価【 1:重要、2:ほぼ重要、3:あまり重要でない、4:重要でない、5:わからない 】

◆市民モニタリングでの主な意見

・活動している市民が、高齢者の波にさらされており、がんばろうとされている。個人の意欲でなんとかなっているところが多いような気がする。
・「協働のまちづくり」は一般市民に分かりにくい。
・私の住んでいる地域はとても充実しており、満足しています。
・お世話をしてくださる方々も充実すればするほど大変なので、その辺を考えながら、活動が出来れば良いと思います。
・取組内容が漠然としている。
・支所の合併策は逆行している。スリム化を進める行政を補完するために重要と考える。
・例えば、地域の道路で、掃除をしてきれいな地域では、優遇するとか、何らかのポイントがあれば、市の施策に取組む人が増えるのでは。
・大津市は広いので、なかなか市役所の方だけでは賅いきれないことがあると思います。それを、NPOの方と協力してやれば、閉鎖的でないイメージができるし、どんどんそういう活動する人がやってくると思います。予算も削減できるような気がします。
・市民活動に参加出来る年齢層が問題点、課題点となってきているかと思っています。生産年齢層の参加がなかなか難しいと思われます。
・市民活動団体や自治会の役にあたれば、地域だけでなく大津市全体の会議等も参加あり、役にあった人の負担が大きくなるのでは。
・地元の有力者等が自治会の役をしているため、よそからきた者には意見が言いにくい。
・1回組長をしましたが時代は変わっているのに、例年通りという形式や暗黙の了解という内容が多かったです。核家族の世の中なので地域のつながりが大切かと思います。

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		平成29年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
5	6	0	0	11	206,187	3	1,072,517	1,278,704

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
<6. 評価>	◎			

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

平成29年度	本指標「行政と市民・市民団体及び事業者との協働事業実施件数」については、平成29年度の目標値115件に対して、実績値は概ね達成しており、順調であると評価している。「(仮称)まちづくり協議会の設立数」については、平成29年度の目標値、実績値ともに0団体であるが、まちづくり協議会の設立に向けては、各学区において各種団体間等の合意形成や意識醸成などが必要なことから、平成29年度より、まちづくり協議会の制度設計及び学区単位での説明会・意見交換会等を実施し、設立に向けた支援を行っているため、順調であると評価している。 施策配下の事務事業のうち、「コミュニティセンター管理運営事業」「市民活動センターの機能の充実事業」「自治会育成事業」「協働のまちづくり推進事業」については、事業の進め方に改善が必要であると評価する。また、「協働のまちづくり推進事業」において実施している一部の協働事業については、事業内容の見直しが必要と評価する。それ以外の施策を構成する事業の取組みは、概ね順調であると評価する。 今後、施策目標を見据え、事業の実手法や内容の見直しを図りながら事務事業を推進していく。
--------	--

施策15

平成30年度 施策評価シート

所管部	政策調整部	所管課	人権・男女共同参画課
施策名	02	人権の尊重と平和社会の実現	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります
	基本政策	04	つながりを大切にし、ともに支えあうまちにします

<2. 施策概要>

課 題	個々の違いを互いに受け入れ、共に認め合い、助け合う社会の実現と世界の恒久平和は、人類共通の願いであるが、いまだ全ての人権侵害が解消されておらず、戦争や地域紛争が絶えない。また、インターネットによる人権侵害など新たな問題が増えている。
目 標 と す る 姿	啓発活動や学習などを通じて人権が尊重され、平和社会への意識が高まり、自由平等に豊かで幸せな生活を送っている。
視 点	1 人権啓発の推進 2 平和意識の高揚

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目		単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	人権を考える大津市民のつどいの参加者数	人	25050.00	25450.00	6743.00	-	-	-
2	平和イベントへの参加者数	人／年	500.00	1000.00	400.00	-	-	-
3								

<4. 市民モニタリング結果>

	施策値	総合順位
満足度	2.71	7
重要度	3.22	33

◆評価【 1:満足、2:ほぼ満足、3:あまり満足でない、4:満足でない、5:わからない 】

◆評価【 1:重要、2:ほぼ重要、3:あまり重要でない、4:重要でない、5:わからない 】

◆市民モニタリングでの主な意見

・人権というのが何を意図しているのかぼやけている。
 ・現状に特に不満はない。
 ・形がよい化している。優先度は低いと考える。
 ・人権標語、作文では人権意識の高揚は望めないと思う。人権に興味のない人には届かないと考えたから。
 ・人間と人間は、十人十色、考え方が異なる人がいることを教育として取り入れるべきだと、啓発することでは。ただ、全ての人間と仲良くしないで、気の合う者同士で仲良くするのも、認めるべきでは。
 ・いろいろな差別があると思いますが、その差別をなくしていくことが人権の尊重につながると思います。そのためには、そういう社会になっているという公共の雰囲気が大事だと思います。たとえば、バリアフリーやバスで車イスの方が乗降しやすいとか、それが当たり前になれば、まわりの差別も減り、人権尊重につながります。(公共の充実してほしいということです)
 ・現状で十分満足しています。
 ・役所の理不尽な姿勢にこの建物にトラウマです。大津市役所の市民に対する意識に不信感をもったものです。人権意識は高いですよ。市役所内で低い人おられますよ。役所で市民の権利研修して下さい。
 ・だんだん平和に対する危機感がうすれていっている。「今」が「今日」が平穏ならいいという生活は当然だが、もっと平和にむかって積極的にとりくまないと。
 ・私も学生ですがよく学校の授業などで人権学習はするので、少なくとも若い人たちは人権についてのある程度の知識はあると思います。

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		平成29年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
2	1	0	0	3	43,497	0	0	43,497

<6. 評価>

◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
◎			

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

平成29年度	指標「人権を考える大津市民のつどいの参加者数」については、年度毎の目標値に対して、平成29年度の実績値は6,743人で107%の達成率である。取組期間から判断して、今年度までの取組は順調であると評価している。指標「平和イベントへの参加者数」については、平成29年度の目標値500人に対する実績値は400人であり、80%達成し、指標の目標値達成に向けほぼ順調である。 当施策については、市民が自由平等に豊かで幸せな生活を送るために不可欠な取組である。この目標を達成するためには、施策配下にある個別の事業を継続的に行うことが重要である。今後も施策目標を達成するよう、引き続き、事務事業を着実に推進する。
--------	---

施策16

平成30年度 施策評価シート

所管部	政策調整部	所管課	人権・男女共同参画課
施策名	03	女性が活躍する社会の実現	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります
	基本政策	04	つながりを大切にし、ともに支えあうまちにします

<2. 施策概要>

課 題	地域社会や職場には、依然として性別による固定的な役割分担意識や慣習が残っており、女性の社会進出が妨げられている。そのため、女性活躍の推進や男女共同参画についての意識を高め、男女がお互いを尊重し、それぞれの個性や能力を発揮できる環境を整える必要がある。
目 標 と す る 姿	社会のあらゆる分野において、男女がお互いを尊重する男女共同参画社会の中、女性が、結婚や出産及び子育て等とを両立しながら働き続け、キャリアアップするなど、個性や能力を発揮して生き生きと社会で活躍している。また、男性の育児、介護及び家事への参画等により、男女ともに仕事と子育てとを両立して、幸せに暮らしている。
視 点	1 男女共同参画社会づくり 2 自由な選択の下での女性のエンパワメント

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目		単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画策定事業者数	件	0.00	15.00	2.00	-	-	-
2								
3								

<4. 市民モニタリング結果>

	施策値	総合順位
満足度	2.15	25
重要度	3.51	23

◆評価【 1:満足、2:ほぼ満足、3:あまり満足でない、4:満足でない、5:わからない 】

◆評価【 1:重要、2:ほぼ重要、3:あまり重要でない、4:重要でない、5:わからない 】

◆市民モニタリングでの主な意見

・スローガンは叫ばれているが、実際にはあまり進んでない。
 ・小さな子供がいる女性は就職・転職が難しい。
 ・この取組は、民間事業者の体制づくりが進まなければ実現できない面もありますが、重要テーマですので、実現するよう推進して下さい。
 ・女性が働きやすい環境であるべき。
 ・企業、職場の雰囲気づくりが大事。
 ・看板かかげずに中味でしっかりやってほしい。パフォーマンスだけでは話にならない。
 ・滋賀はコンさん、カガさんなど女性のリーダーが活躍されていてすばらしいと思う。これからも女性のリーダーが出てくることを期待する。
 ・会社で、女性がいることは、男女社会にとって、重要。ただ、女性も平等である以上、男性と同じように職務に取組むべきで、甘えはNG。男性も女性の考えをある程度、受入れるべき。
 ・今回のモニタリングにおいても、市役所の方からは女性がおられません。市の方からもっと取りくんでもらえたらいいと思います。
 ・私はアルバイトの身分ですが、女性の育児による休暇、急な休みを取りにくい現実がまだまだ残っているし、企業としても嫌う傾向にある。
 ・この問題はかけ声が多い。リアルさはどうか。20年以上前から、変化していない様に思う。
 ・充分活躍していると思いますし、むしろ、男性の方が弱い立場にないかとまであるので大丈夫だと思います。
 ・女性が母親業と主婦業(家事)と労働(賃金を得る)をバランス良く務めるには、気分、体力共に限りがあります。
 ・女性への支援も大事だが、男性への配慮も必要。男性への理解。

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		平成29年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
1	1	0	0	2	58,644	0	0	58,644

<6. 評価>

◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
×			

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

平成29年度	第3次大津市男女共同参画推進計画（おおつかがやきプランⅢ）に基づく施策目標をもって、部局横断的に庁内で、男女共同参画社会実現に向けて総合的に施策に取り組んでおり、各事業において一定の成果を挙げ、男女共同参画意識の醸成を図っているところである。ただし、成果指標の一つである審議会等の女性委員登用率は、前年度と比較して若干上昇しているものの、いまだ目標値には達していないことから、今後は重点的かつ計画的に担当部局と連携しながら指標達成に向け取り組みを進めることとする。 また、女性活躍の推進については、市民及び事業者に向けた意識と行動について機運の醸成を図ることが必要であり、女性活躍推進重点事業「O t s uプロジェクト-W」を通じて働きかけている。指標の達成には、市全体において機運の醸成が必要であることから、市民及び事業者を対象として、くるみん認定取得や女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定等の事業に対する支援を実施する。 また、L G B T当事者への支援については、「おおつレインボー宣言」を行い、本市の姿勢を明確にしたことから、今後は周知・啓発のみならず様々な事業に取り組み、支援を推進する。指標の達成度は十分ではないものの施策全般としては総合的に進められていると考えている。
--------	---

施策17

平成30年度 施策評価シート

所管部	政策調整部	所管課	企画調整課
施策名	04	大学連携の推進	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります
	基本政策	04	つながりを大切にし、ともに支えあうまちにします

<2. 施策概要>

課 題	多くの大学が立地する本市において、大学の豊かな知的資源及び人的資源を活かし、幅広い分野で連携を進めるとともに、大学生の地域への関わりを促進する必要がある。
目 標 と す る 姿	大学の豊かな知的資源及び人的資源が幅広い分野で活かされるとともに、大学生が地域の中で活躍し、本市への愛着を深め、市内での就労にも意欲を示している。
視 点	1 大学との連携によるまちづくりの推進 2 「農」、「食」など新設学部との連携

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目	単位	基準値	目標値		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1 大学連携相互協力事業数	事業／年	233.00	245.00		266.00	-	-	-
2								
3								

<4. 市民モニタリング結果>

	施策値	総合順位
満足度	2.11	31
重要度	3.14	35

◆評価【 1:満足、2:ほぼ満足、3:あまり満足でない、4:満足でない、5:わからない 】

◆評価【 1:重要、2:ほぼ重要、3:あまり重要でない、4:重要でない、5:わからない 】

◆市民モニタリングでの主な意見

- ・何が実現でき、できていないがわからない
- ・今のところ目立った成果がないように思う。
- ・若い世代に大津の魅力を再認識してもらえると将来労働力になってくれることが期待できる。
- ・卒業後も大津市や滋賀県に残ってもらえるよう企業に協力していただき若い力を滋養に残して欲しい。
- ・大学の卒業生が地域に就職していない事が多いので特に力をいれてほしい。
- ・大学も大津市に関わることで、大学生ならではの考えも出てくると思う。
- ・県内の大学卒業後に県内で就職する人は全国で最も少ないと聞いたことがあるので重要だと思う。
- ・私は、県内の大学に通っているが、市との連携を感じたことはない。
- ・高齢者の市民活動コミュニティの充実にも学生の協力が必要と思われます。
- ・県立大学のことはよくきくが、国立大のことはあまりきかない。地元の大学は活気がなく先細りなのは・・・
- ・教育学部のある大学と学校の距離をもっと密なものへ。学部生の教育実習をもっと現場の支えとなるように。
- ・大学発の新しい企業などが増えるとういと思います。
- ・大学との連携は継続して頂きたい。この際、企業との連携も必要では??
- ・他大学との交流があるとあまり感じたことがない。

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		平成29年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
1	0	0	0	1	4,866	0	0	4,866

<6. 評価>

◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
◎			

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

平成29年度	平成29年度の目標値に対する実績値は266であり、108.6%達成し、指標の目標値達成に向け順調であると評価している。施策配下の事務事業「大学連携関連事業」も、概ね計画通りに推進されており、今後も、これまで同様に推進していく。
--------	---

施策18 平成30年度 施策評価シート

所管部	産業観光部	所管課	観光振興課
施策名	01	オンリーワンを活かした国内外からの誘客の推進	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創ります
	基本政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします

<2. 施策概要>

課 題	本市は、昭和33年に「大津国際文化観光都市建設に関する決議」が市議会において議決されて以降、国際化に取り組んできた。近年、全国的に訪日外国人が増加し、その中でも本市は著しく高い伸び率を記録している。観光政策による交流人口の拡大は、さまざまな業種に経済波及効果を及ぼし、雇用創出にも好影響をもたらすとされており、このチャンスを活かして、増加傾向にある訪日外国人を更に呼び込むとともに、国内観光客に対しても効果的な政策を展開する必要がある。
目 標 と す る 姿	オンリーワンである琵琶湖を始めとする豊かな自然、世界遺産や日本遺産を始めとする悠久の歴史・文化など、訪日外国人等が本市での観光を満喫するとともに、観光産業の振興によって地域経済も活性化されている。さらに、国内外の来訪者との交流を通じて市民が本市で暮らすことに誇りを感じ、まちへの愛着を深めている。
視 点	1 オンリーワンを活かす着地型観光の推進 2 インバウンド観光への情報発信 3 広域観光プロモーションの充実 4 スポーツ観光の推進

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目		単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	来訪者の満足度	%	68.70	75.00	71.20	-	-	-
2	宿泊者数	人／年	1443900.00	1650000.00	1411700.00	-	-	-
3								

<4. 市民モニタリング結果>

	施策値	総合順位
満足度	1.97	36
重要度	3.32	31

◆評価【 1:満足、2:ほぼ満足、3:あまり満足でない、4:満足でない、5:わからない 】

◆評価【 1:重要、2:ほぼ重要、3:あまり重要でない、4:重要でない、5:わからない 】

◆市民モニタリングでの主な意見

・大津市は旅行者の通過だけになっている。大津市でお金を使ってもらう取組がある。何がOnly Oneなの？ ・滋賀県は観光資源が豊富にあるが、一つ一つの観光地が離れていて公共交通も発達していないので、車以外の観光が難しいと知り合いのガイドをしているフランス人が云ってました。 ・インバウンドの取組については、もっと施策充実を行ってほしい。例えば、民泊の制度化や支援事業等を行政として取組んでほしい。 ・琵琶湖は北方はきれいだと思うが、南方はとても臭いイメージがあり、観光したいと思わない。だから湖岸の清掃をすべき。 ・各所に自転車がかかっているが、使っている人を見たことがない。もっとその情報を周知するべきだと思う。 ・特に、湖西でシーズンになると渋滞がひどい。 ・外国人来訪者にも、ルールを守るべきことは自負してほしい。ゴミを捨てない。トイレや洗面所をキレイに使う。マナーを守ってほしい。 ・昔に比べてPRできていると思います。 ・観光客が訪れても交通の便が悪い。まず、公共交通手段をしっかり整備する必要がある。 ・県外から来た人に一番にぎやかな街はどこ？ときかれても言えない。街路樹など紅葉する前にきられているし、比良のぶなヶ岳はリフトがなくなって行きにくい。県外の人が比良には多く登っているし、もっと道の整備を。 ・大津の観光はいろいろあるが、それぞれの観光地を結ぶ交通網が悪いと感じます。泊まるだけで京都観光に行かれる人が多いと感じる。 ・交通アクセスが悪すぎる。 ・大津駅ヴェエラ大津がきれいになり、来訪者対策もとなりの市町村に負けず劣らず頑張ってると思います。

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		平成29年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
7	5	0	0	12	442,129	3	73,086	515,215

<6. 評価>

◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
◎			

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

平成29年度	本指標「来訪者の満足度」「宿泊者数」については、年度ごとに段階的に目標値を定めている。「来訪者の満足度」の実績値は、71.2%であり、95%達成している。また、「宿泊者数」の実績値は、1,411,700人であり、85.6%達成している。それぞれの成果指標について、概ね90%であることから、進捗状況を順調としている。 施策と主な取組事業の進捗は、いずれも順調であるため、計画どおり施策及び主な取組を推進していく。
--------	---

施策 19

平成30年度 施策評価シート

所管部	産業観光部	所管課	インバウンド・国際交流室
施策名	02	多文化共生・国際交流の推進	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創ります
	基本政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします

<2. 施策概要>

課 題	本市では昭和44年のアメリカ合衆国・ランシング市を始めとする世界5都市との姉妹都市・友好都市提携及び平成22年にはオーストラリア連邦・モスマン市との市民友好交流の合意書を交わすなど、国際交流に努めてきている。このような中、市内に在住する外国籍市民も多国籍にわたるなど、本市においても地域の国際化が進展している。しかし、言語や生活習慣の違いなどから、在住外国人が日常生活におけるコミュニケーションや必要な情報の入手が難しい状況にある。
目 標 と す る 姿	国籍や民族の異なる人々が互いの文化的差異を認め合い、国際交流が自然に深められているとともに、外国籍市民も地域社会の一員として溶け込み、安心して暮らすことができる多文化共生が浸透した地域社会を形成している。
視 点	1 国際交流の推進 2 多文化共生社会への取組

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目	単位	基準値	目標値		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1 国際文化理解講座の参加者数	人／年	2004.00	2100.00		3629.00	-	-	-
2								
3								

<4. 市民モニタリング結果>

	施策値	総合順位
満足度	2.00	34
重要度	3.14	36

◆評価【 1:満足、2:ほぼ満足、3:あまり満足でない、4:満足でない、5:わからない 】

◆評価【 1:重要、2:ほぼ重要、3:あまり重要でない、4:重要でない、5:わからない 】

◆市民モニタリングでの主な意見

- ・外国人労働者が定住できる体制づくりが必要。
- ・海外の方に向けた案内として、ホームページの見直しや標式をもっと増やしていく。
- ・今後は教育のグローバル化が進む(める)のであるなら この分野に人材をあてていくとよい。
- ・他国との関わりをもつことで、他国の文化も取り入れることができ互いに友好的になると思う。
- ・優先度が低い。行政の仕事ではない。
- ・交換留学を増やしてほしい。
- ・日本文化を守っていくには、外国文化の良いトコ、悪いトコも見ないといけない。ただ、日本としての誇りは守るべき。そうしたことを外国人にもわかってほしい。
- ・ここを充実させると、外国の方も来てくれやすいと思いますが、地域の人の意識も受け入れやすい雰囲気作りをする働きをしてほしいです。英語・中国語表記の充実とか。
- ・交流の場が、一部の人に限られています。情報が入らないこともあるかと思いますが、もっとふれあえる場を広告してもらえたらと思います。
- ・大津市在の外国人との交流が大事。
- ・民間の英会話学校はとても高価です。大津市が主催して、大津在住の外国人と日本の学生が交流できる場があれば、どんどん参加したいと思っています。
- ・最近では海外の方がよく、移住してくるのも多いので、大津市のゴミ出しのルールなども翻訳してしっかりと海外の方に伝えてほしい。
- ・国際交流(子供の留学など)にはお金がかかるというイメージはありますが、あまり身近に感じません。

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		平成29年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
3	0	0	0	3	28,576	0	0	28,576

<6. 評価>

◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
◎			

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

平成29年度	本指標「国際文化理解講座の参加者数」の実績値は、3,629人であり、目標値2,100人を大きく超えており、進捗状況は順調としている。施策と主な取組事業の進捗は、いずれも順調であるため、計画どおり施策及び主な取組を推進していく。
--------	---

施策20

平成30年度 施策評価シート

所管部	環境部	所管課	環境政策課
施策名	01	琵琶湖を始めとする自然環境の保全	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創ります
	基本政策	02	自然豊かな景観を守り育て、自然と共生するまちにします

<2. 施策概要>

課 題	「湖都」として、琵琶湖やそれにつながる河川を大切にし、水環境に優しいまちづくりを進めることが重要である。また、大気汚染や騒音問題などから市民の良好な生活環境を守る必要がある。さらに、「琵琶湖の保全及び再生に関する法律」が施行され、琵琶湖を始めとした自然環境の保全に関する市民の関心が高まっている。身近な生活空間及び森林、田園などの里地里山の自然が近接して形成される潤いある豊かな生活空間の保全・再生が求められる。
目 標 と す る 姿	琵琶湖を始めとした自然環境が適切に保全される中、人と自然が共生しながら、市民の良好な生活環境が形成されている。
視 点	1 水環境の保全・再生 2 里地里山等の保全・再生 3 環境監視及び規制

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目	単位	基準値	目標値		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1 環境保全活動年間参加者数	人／年	94720.00	95000.00		89635.00	-	-	-
2 森林整備面積	ha／年	116.99	120.00		70.63	-	-	-
3								

<4. 市民モニタリング結果>

	施策値	総合順位
満足度	2.38	18
重要度	3.63	11

◆評価【 1:満足、2:ほぼ満足、3:あまり満足でない、4:満足でない、5:わからない 】

◆評価【 1:重要、2:ほぼ重要、3:あまり重要でない、4:重要でない、5:わからない 】

◆市民モニタリングでの主な意見

・びわ湖は唯一無二の存在。大切に守りたい。
 ・汚い臭いイメージを抱かせてはならない。常に美しく、誇れるモノにしていく。
 ・保全は災害リスクアセスメントとしてとりむべき重要な課題。
 ・都市化が進んでいて、多くの木が伐さいされているので、都市化もほどほどにして環境を保護することが必要である。
 ・南湖はあまりきれいとは言えないので、滋賀には琵琶湖があるとは言ってもあまり自慢できない。
 ・住宅地開発のための森林開発が進んでしまっている。
 ・水環境の保全について、当然されているだろうと考えていた。琵琶湖は大阪だけでなく京都にとっても命の水であることを認識している。
 ・公園など、だんだんだめになっており、くつろげるものでない水辺といっても水はきたなく道は草だらけ、大きな所をなおすより小さい所から。
 ・公園施設が、最近少し減ってきている気がします。外に遊ぶ場所がもう少し増やしてほしいです。あと、下の方のびわ湖はきれいとは決して云えない汚さをしているので、具体的な取り組みを出して改善ほしいです。
 ・環境はすごく良いし水もおいしい。たまに道に犬のフンがころがってる。
 ・琵琶湖の自然環境保全は進んでいると思われるが、里山の保全が高令者の耕作地等の問題などボランティア、企業を活用するべきだと思う。
 ・琵琶湖に対しての保全は進めていると感じるが、里山、森林組合は、何をやっているのかわからない。もう少し、間伐を進めてその材料も有効利用するべき。

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		平成29年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
5	2	0	0	7	392,444	11	169,873	562,317

<6. 評価>

◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
△			

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

平成29年度	指標「環境保全活動年間参加者数」については、目標値95,000人に対し、平成29年度の実績は89,635人で94.4%の達成率で「順調」である。 指標「森林整備面積」については、目標値120haであるが、災害復旧の影響もあり70.63haとなり58.9パーセントの達成にとどまったことから評価としては「不調」である。 これにより、2つの指標を総合的に判断した結果、「やや不調」の評価となった。 今後の方向性としては、市民の環境保全活動については今後も活発に行われるよう引き続き支援を行う。 また、森林整備については、森林資源の充実した保育期にある間伐を行うなどの森林整備面積の拡大は喫緊の課題であることは認識しており、林業振興並びに国土保全の観点からも一層の推進をしていきたいと考えている。
--------	---

施策21

平成30年度 施策評価シート

所管部	環境部	所管課	環境政策課
施策名	02	環境教育の推進	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創ります
	基本政策	02	自然豊かな景観を守り育て、自然と共生するまちにします

<2. 施策概要>

課 題	自然と親しむ機会の減少により、環境に配慮した行動につながる意識の低下が懸念される。このことから、琵琶湖や比良・比叡の山々など身近な自然環境に関する情報の発信や、自然環境を活用した環境教育の機会の提供が必要である。
目 標 と す る 姿	幼少期から自然と触れ合い、常に環境に関する情報が入手できることにより、人と自然との関係について理解を深め、環境に配慮した行動をする人が育っている。
視 点	1「環境人」育成の推進 2 環境情報の収集・蓄積・発信

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目		単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	自然家族事業等累計参加者数	人	8104.00	11000.00	10466.00	-	-	-
2						-	-	-
3								

<4. 市民モニタリング結果>

	施策値	総合順位
満足度	2.91	4
重要度	3.05	39

◆評価【 1:満足、2:ほぼ満足、3:あまり満足でない、4:満足でない、5:わからない 】

◆評価【 1:重要、2:ほぼ重要、3:あまり重要でない、4:重要でない、5:わからない 】

◆市民モニタリングでの主な意見

- ・小さい時からの教育は重要。関心があれば環境に配慮もできる。
- ・昔のように自然と触れあいながら育つ子供が少ない。
- ・何となく、県の事業の方がなじみがあります。
- ・現状に特に不満はない。
- ・場所が遠くてなかなか参加しにくい。
- ・中途半端な取組内容でよくわからない。
- ・葛川は行ったことがあるのですが、私達の住んでいる地域では体験できないことができるのでよい活動だと思う。
- ・私も上記のプログラムを体験したが、環境について考える良いキッカケとなった。
- ・私は、環境問題については、家庭ゴミをきちんと処理する。そうしたそうじをすべきでは。
- ・自分の小さいころの授業の記憶ですが、ことあるごとに琵琶湖や自然環境について学んだので、それなりに知識も意識もあると思います。「うみのこ」はとてもよかったです。
- ・環境人の育成とは、誰を対象としているのでしょうか？子供たちであれば学校の授業に取り入れられているのか？
- ・小中学生が、葛川やうみのこで体験学習をするのはとてもよいと思っています。
- ・葛川少年自然の家で自然について様々な事を学べたので満足です。

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		平成29年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
5	1	0	0	6	150,498	2	9,916	160,414

<6. 評価>

◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
◎			

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

平成29年度	参加累計人数11,000人の目標に対し、平成29年度末の累計人数は10,466人であり、達成率は95.1%となり「順調」である。 平成29年度に策定した「大津環境人を育む行動計画」に基づき、環境について自ら関心を持ち行動できる環境人が育まれるよう、引き続き環境教育の推進を図る。
--------	--

施策22 平成30年度 施策評価シート

所管部	教育委員会		所管課	文化財保護課
施策名	01	歴史・文化遺産の保全・発信		

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創ります
	基本政策	03	悠久の歴史と文化を大切に、次代に継承します

<2. 施策概要>

課 題	悠久の歴史を持ち、“近江大津宮”に端を発する「古都」としての本市は、世界遺産や日本遺産のほか、京都市・奈良市に次ぐ多くの国指定文化財を有しており、地域には数多くの歴史・文化遺産が存在している。しかし、その存在が市民に知られていないものもある。また、地域の伝統行事や祭りを伝承していく必要がある。
目 標 と す る 姿	歴史・文化遺産が保存・継承され、市民や来訪者が文化や伝統に触れることができる環境が形成されている。そして、貴重な歴史・文化遺産の中で暮らすことに誇りを感じ、まちへの愛着を深めている。
視 点	1 歴史・文化遺産の保全 2 歴史に関する情報発信

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目		単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	国・県・市指定文化財の指定及び登録件数	件	659.00	674.00	667.00	-	-	-
2	歴史博物館来館者総人数(のべ人数、貸し館とも)	人/年	87000.00	87000.00	73643.00	-	-	-
3								

<4. 市民モニタリング結果>

	施策値	総合順位
満足度	2.64	9
重要度	3.26	32

◆評価【 1:満足、2:ほぼ満足、3:あまり満足でない、4:満足でない、5:わからない 】

◆評価【 1:重要、2:ほぼ重要、3:あまり重要でない、4:重要でない、5:わからない 】

◆市民モニタリングでの主な意見

- ・海外からの観光に大いに役立てて欲しい。
- ・あまり知られていない。すばらしい歴史があるのでもっと発信するべき。
- ・草津の琵琶湖博物館などとの連携・協力もあるし良いと感じる。
- ・学識者や市民との協働で取組んでください。
- ・歴史博物館の場所が悪い。なじみなくて行くことがない
- ・歴史博物館の活動や展示物をWEBを利用してもっと公開して欲しい。
- ・文化財の情報を発信することで他県や他国の観光客が増えると思う。
- ・保全はされているが広く発信されているとは言えないと思う。
- ・適切に保全が行われていると思う。情報発信については、あまり耳にしたことがなかった。
- ・歴史、文化については、となりの京都にかなり負けているように思う。京都と関連する歴史文化もアピールすれば、もっと大津も注目されるかな。
- ・大津の文化遺産をもっとアピールしたらいいのにと思います。琵琶湖、比叡山、石山寺ぐらいいい思いつかないです。
- ・他県に比べても十分とりくまれていると思います。
- ・歴史の講座に興味をもっている。もっと増やしてほしい。
- ・アニメを通して、より具体的な事実を伝えられてもいいかなと思います。

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		平成29年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
9	0	0	0	9	312,179	2	71,603	383,782

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
<6. 評価>	◎			

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

平成29年度	本市は国指定文化財の所在件数が京都市、奈良市に次いで全国第3位であり、文化財に対する市民意識の満足度も高い。文化財の保存・活用事業は、市民生活に直接影響を及ぼすものではないが、まちづくりの核となる事業の一つである。厳しい財政状況の下、市民の協力と理解を得ながら、計画的に事業を進めることができた。 指定文化財等の保存修理や管理、伝統的建造物群保存地区の修理・修景にあたっては、所有者の意向を前提として、国・県と調整を図りながら事業が進められた。また、市内史跡整備事業については、限られた予算の中ではあるが、継続的に史跡を公有化できた。 博物館の活動としては、大津市内の豊かな歴史と文化への理解を深めていただくための展覧会や講座を実施するとともに、市民の芸術活動の発表の場としても利用されている。平成29年度は、秋に企画展「大津の都と白鳳寺院」を開催し、大津京遷都1350年の節目を広く周知したのをはじめ、田上郷土史料館の資料を紹介する「田上てぬぐい」、膳所地域にまつわる「膳所城と藩政」を開催し、関連講座も含めて、地域の歴史への理解を深めていただく事業を実施した。 施策配下の事務事業は概ね順調な進捗が図れていることから、今後もこれまで同様計画どおり事業を推進していく。また、文化財の情報についても、より一層の発信に努めていく。
--------	---

施策23

平成30年度 施策評価シート

所管部	未来まちづくり部		所管課	まちづくり計画課
施策名	02	湖都にふさわしい景観づくり		

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創ります
	基本政策	03	悠久の歴史と文化を大切に、次代に継承します

<2. 施策概要>

課 題	本市は、平成15年10月に古都保存法に基づく「古都」の指定を受けるなど、歴史上重要な文化遺産を有しており、また、美しく風格ある景観に恵まれている。こうした景観を市民共有の財産として守り、歴史や自然と調和した都市の景観形成に努めることにより、都市の魅力を向上させる必要がある。また、琵琶湖のほとりに位置する都市として、広域的景観の保全や連続性・統一性のある景観形成を進める必要がある。
目 標 と す る 姿	都市の機能と調和しつつ湖都にふさわしい、美しく風格ある景観が整ったまちが形成されている。
視 点	1 次代に引き継ぐ景観づくり

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目		単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	景観保全のための地区計画、景観協定の設定地区面積	ha	296.20	298.20	296.70	-	-	-
2						-	-	-
3								

<4. 市民モニタリング結果>

	施策値	総合順位
満足度	2.35	19
重要度	3.33	29

◆評価【 1:満足、2:ほぼ満足、3:あまり満足でない、4:満足でない、5:わからない 】

◆評価【 1:重要、2:ほぼ重要、3:あまり重要でない、4:重要でない、5:わからない 】

◆市民モニタリングでの主な意見

・南湖の湖西地区(特に西大津)において、湖岸エリアに高層マンションが立ち景観が悪い。
 ・この取組は、「100年の計画」として、先進的に取組んでいる他都市の例も参考にし、条例の制定等、中味のある事業・施策を期待します。
 ・この取組みのことを全く知らなかった。
 ・建物の保全もそうだが、新しい建物とそれのバランスもしっかり考えないといけない。
 ・湖都にふさわしい→それは各人によって認識が異なると思う。
 ・ここを充実させれば、観光客もくると思います。景観づくりをしたあと、それを維持し続けていく働きも大事だと思います。
 ・十分に進められていると思います。
 ・びわ湖岸に鑑立する高層マンションは規制が必要だったと思っています。子供の頃から大津にいますが、昔はびわ湖の水辺を散歩したり、足をつけたりしてまたびわ湖を眺めたり…そんな思い出があるのですが、今は、鏡ヶ浜・柳崎～浜大津くらいまで、すべて湖岸が高層マンションでうめつくされ、浜辺はマンション住人のプライベートビーチと化しています。これでよいのでしょうか…。
 ・大津市で生活していると、ところどころ、手抜きな整備が気になります。

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		平成29年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
4	1	0	0	5	70,093	0	0	70,093

<6. 評価>

◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
◎			

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

平成29年度	本指標「景観保全のための地区計画、景観協定の設定地区面積」については、年度毎の目標値に対して、平成29年度の実績値は296.7ha（琵琶湖疎水沿道地区地区計画0.5haが追加）で、100%の達成率である。取組期間から判断して、今年度までの取り組みは順調であると評価している。 平成30年度には、本市36番目の地区計画として、北部地域新産業拠点地区地区計画の決定を行う。この地区計画には、形状、色彩、その他表示の方法が美観風致を害さないものであること等、景観保全のための規定があり、これまで同様に施策及び主な取組事業を推進していく。
--------	--

施策24

平成30年度 施策評価シート

所管部	市民部		所管課	市民スポーツ・国体推進課
施策名	01	スポーツの普及・振興		

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創ります
	基本政策	04	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします

<2. 施策概要>

課 題	平成32年には東京オリンピック・パラリンピック、平成36年には滋賀国体・全国障害者スポーツ大会が開催される。スポーツは、心身の発達や健康増進、豊かな人間性の育成や交流促進に欠かせないものであり、競技スポーツのみならず、市民の健康増進と心豊かな暮らしのために、生涯にわたリスポーツを楽しめる環境づくりが必要である。
目 標 と す る 姿	子どもから高齢者まで、生涯を通じて市民がスポーツに親しみ、心身ともに健康で豊かに生き生きとスポーツを楽しんでいる。
視 点	1 生涯スポーツの普及・振興 2 競技スポーツの推進

<3. 成果指標>

指 標					実績値			
項 目		単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	市民の週1回以上の運動・スポーツ実施率(平均値)	%	46.35	65.00	48.10	-	-	-
2	学校以外での1日あたりの運動時間(小学校5年生対象)(平均値)	分	66.15	67.80	66.35	-	-	-
3								

<4. 市民モニタリング結果>

	施策値	総合順位
満足度	2.84	6
重要度	3.21	34

◆評価【 1:満足、2:ほぼ満足、3:あまり満足でない、4:満足でない、5:わからない 】

◆評価【 1:重要、2:ほぼ重要、3:あまり重要でない、4:重要でない、5:わからない 】

◆市民モニタリングでの主な意見

・著名なスポーツ選手も多数いて、力を入れていると思う。
・気軽に利用できる施設の不足。
・子どもの公園と併設して高齢者もスポーツ又は、健康推進の公園があるとよい
・20歳の頃から大津でジムを利用してるのですが、すごく良いです。
・スポーツをするにあたって、場所、人数、道具が必要なものがたくさんあるので、どんな人でもそのスポーツができるような設備をしてほしいです。
・オリンピックやワールドカップ出場選手の力をかりて、競技に興味をもつ若者をふやしていくとよい。
・イギリスのように、芝生のコートを学校につくことはできないだろうとか。
・スポーツは体の健全でなく、ルールを守ることも教えるべき。
・もっと、ファミリー、地域の人とできる機会を増やしてほしいです。ファミリーマラソンとか障害の方のスポーツを体験とか。
・生涯スポーツの普及と云ってるが、身近な場所で受けられず参加したくても出来ない。
・大津市ではなく、滋賀県かもしれませんが、高等学校の運動部が激しすぎると思っています。子供・生徒が生涯にわたってスポーツを好きで、好きなまま続けるためには学校の運動部は2部制(勝利・全国進出をめざすチーム、その競技を楽しむチーム)にするなどの対応を考えていくべきだと思います。
・サイクリングの道路の整備などしっかりしてとても良い取組みだと思います。
・スポ少の参加人数を増やして子供の休日の充実があれば良いなと思いました。

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		平成29年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
6	3	1	0	10	172,022	3	13,436	185,458

<6. 評価>

◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
○			

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

平成29年度	指標「市民の週1回以上の運動・スポーツ実施率」の毎年度の目標値は65%であり、本年度の実績は48.1%である。目標に対して74%の達成状況であったことから、評価としてはやや不調である。 指標「学校以外での1日あたりの運動時間(小学5年生対象)」の平成29年度の目標値は、全国平均の△0.95(男子△0.8、女子△1.1)であり、全国平均値は70.75分(男子88.0、女子53.5)であった。本市の平成29年度の実績値は66.35分(男子83.2、女子49.5)であり、95.1%達成したことから、評価としてはほぼ順調である。 施策配下の事務事業のうち主な取組事業のまちづくり健歩運動推進事業のうちのウォーキング事業については、事業内容の改善が必要であると評価する。それ以外の施策を構成する事務事業については、概ね計画通りに推進されており、今後も、これまで同様に主な取組事業を始め、施策配下の事務事業を推進していく。
--------	--

施策25

平成30年度 施策評価シート

所管部	市民部	所管課	文化・青少年課
施策名	02	文化・芸術に親しめる環境づくり	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創ります
	基本政策	04	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします

<2. 施策概要>

課 題	心豊かで潤いのある市民生活や個性豊かで活力あふれる地域づくりを実践していくために、多様な文化活動を促進する必要がある。
目 標 と す る 姿	市民の多種多様な文化活動や、個性豊かな地域づくりの実践により、文化が薫る豊かなまちが形成されている。
視 点	1 文化・芸術の感動・創造・交流

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目		単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	後援した文化・芸術事業への参加者数	人／年	161439.00	172000.00	159207.00	-	-	-
2						-	-	-
3								

<4. 市民モニタリング結果>

	施策値	総合順位
満足度	2.52	14
重要度	2.84	40

◆評価【 1:満足、2:ほぼ満足、3:あまり満足でない、4:満足でない、5:わからない 】

◆評価【 1:重要、2:ほぼ重要、3:あまり重要でない、4:重要でない、5:わからない 】

◆市民モニタリングでの主な意見

- ・フォルジュルネは面白い企画、続けてほしい。
- ・大津といえば、大津絵かなと思うが、あまり知らない。
- ・文化などを次世代の人々に教えることが大事である。
- ・身近にその成果を見ることがない。
- ・学校のプログラムで歴史・文化に触れる機会があったが、良い経験だった。
- ・文化、芸術に取り組んでいることは大切だが、それは、個人の趣味までで良い。税金を投入してまでは、必要ないと思う。
- ・大津市の文化というと大津祭や唐橋焼ぐらいしか思い浮かびません。他にも必ずあるとおもうので、その保全や紹介をしてほしいです。
- ・文化、芸術などの大津市外からの活動を受入れとか考えてほしい。
- ・十分に取組まれていると思います。
- ・大津は琵琶湖ホールという素敵なホールがあります。子どもが安く観劇できたりして、普通だと見れないものを体験できてとてもありがたい。
- ・大津市、北部に関しては、文化、芸術活動が低い。どうしても都市部中心になってしまっているようで残念に思います。
- ・広報力が弱い、テリトリー(市・県)意識がある？文化はバリアフリーで公報して。
- ・広告や情報がいきとどいていない。

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		平成29年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
7	2	0	0	9	188,684	1	86,533	275,217

<6. 評価>

◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
◎			

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

平成29年度	本指標の「後援した文化・芸術事業への参加者数」については、後援した事業実施後の各種団体からの報告を元に集計している。目標には達していないものの、延べ約16万人が文化・芸術活動に参加しており、目標の92%以上に達していることから、進捗評価を順調としている。 施策の進捗は順調であり、主な取組事業の進捗も順調である。これまで同様に、市民による文化芸術の振興のため効果的な情報発信に努め、「第2次大津市文化振興計画」及び上位計画である新総合計画に掲げる施策及び主な取組事業を推進していく。
--------	---

施策26

平成30年度 施策評価シート

所管部	総務部	所管課	危機・防災対策課
施策名	01	災害に強いまちづくりの推進	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります
	基本政策	01	安心、安全に暮らすことのできるまちにします

<2. 施策概要>

課 題	近年、大規模地震や集中豪雨等による想定外の自然災害が多発している。被害が広範囲に及ぶ自然災害に対しては、家庭、地域、事業所及び行政がそれぞれの立場で防災・減災に取り組む必要がある。また、相互に連携して全市的に取り組む必要があることから、総合的な防災・減災対策が求められている。
目 標 と す る 姿	さまざまな自然災害に対する市民や関係機関の危機管理意識の向上と防災・減災への対策が図られて、災害時に迅速に対応できる基盤と仕組みが整っている。
視 点	1 災害に対するまちの安全性の確保 2 地域防災力の向上 3 災害への情報基盤の整備

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目		単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	各学区における地区防災計画の策定数	学区	0.00	36.00	4.00	-	-	-
2	市民を対象とした消防防災訓練参加者数	人／年	21800.00	50000.00	25450.00	-	-	-
3								

<4. 市民モニタリング結果>

	施策値	総合順位
満足度	2.53	13
重要度	3.89	2

◆評価【 1:満足、2:ほぼ満足、3:あまり満足でない、4:満足でない、5:わからない 】

◆評価【 1:重要、2:ほぼ重要、3:あまり重要でない、4:重要でない、5:わからない 】

◆市民モニタリングでの主な意見

・最近の地震などの災害を考えると間違いなく重要
 ・このような内容を、もっと広くしらせる取組をお願いします。現段階では、興味のある人だけになっているように思います。
 ・伊香立、かつら川地域が非常ににもろく感じる。避難勧告がでることが非常に多い。
 ・地震だけでなく、水災についても取組・啓発をすすめてほしい。市予算が少ない中、優先的に進めなければならない。「ハード事業」を示してほしい。
 ・起こらないとわからないところはある。気になることとしては、日本の避難所はプライバシーがないと言われてるので、欧州を参考にしてみてもいい？
 ・災害が起きたらすぐさま市民に伝えるサービスを行うべきである。
 ・今のハザードマップはかなり正確である。しかし、あまりその情報に触れることはなく、使える状況にない。市はそれをもっと促進すべきだと思う。
 ・滋賀県は断層に囲まれてそうなので、これは是非対策してほしいです。大津市は広いので、放送よりアプリやメールを通じて、情報を発信する方法を考えてほしいです。また想定される災害に対しての仮想避難方法などをシュミレーションできるものであればいいと思います。
 ・災害はいつ起きるかわからない。防災グッズなど市が配布したりしては？
 ・いつも同じところで被害が出ている。何とかならないか。スマホにすぐ正式情報など入ってくるようになったのはよい。
 ・情報が来ない。
 ・地震、洪水が起こりやすい年が多くなるように思われる。避難計画だけでなく、実際の訓練も重要に思われます。
 ・大津市の想定災害情報が少なく、市民の防災意識が上がっていない様に思える。

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		平成29年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
9	3	0	0	12	1,900,452	40	1,182,174	3,082,626

<6. 評価>

◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
◎			

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

平成29年度	「各学区における地区防災計画策定数」については、平成32年度中に全36学区での策定を目標としている。平成29年度については目標を3学区とし、4学区が策定したことより目標数を達成した。 「市民を対象とした消防防災訓練参加者数」については、平成32年度の最終目標を50,000人としている。平成29年度については目標は30,000人であり、大石小学校で予定していた総合防災訓練が台風18号の影響で中止となったことから、参加者数は25,450人と目標に達しなかった。 阪神・淡路大震災を契機に自助・共助の重要性が認識され、平成23年に発生した東日本大震災により「公助の限界」や「地域コミュニティにおける共助の重要性」が改めて認識されたことから、本市では地域の特性を踏まえた共助の防災活動を内容とする「地区防災計画」が重要と考え、全学区において作成するよう支援していく。
--------	--

施策27

平成30年度 施策評価シート

所管部	市民部		所管課	自治協働課
施策名	02	防犯力の向上と生活安全の推進		

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります
	基本政策	01	安心、安全に暮らすことのできるまちにします

<2. 施策概要>

課 題	市内における一般刑法犯は、侵入盗、自転車盗、車上荒らしなどの「窃盗罪」の割合が高く、また、近年、架空請求詐欺、還付金詐欺、悪質商法等のように犯罪の手口が巧妙化している。さらに、インターネットを介した電子商取引における消費者トラブルも増加傾向にある。一方、交通事故においては、高齢者が関係する死亡事故割合が増加傾向にあり、歩行者や自転車による事故の増加も懸念される。
目 標 と す る 姿	市民一人一人の防犯意識や消費者としての権利意識が高まり、地域や警察などの関係機関との連携により、犯罪や消費者トラブルの起こりにくいまちが整備されている。また、交通安全に対して必要な施設設備が充実し、一人一人の安全意識が高まって、誰もが安心・安全に行き交うことのできるまちが形成されている。
視 点	1 防犯活動の強化 2 交通安全のまちづくり 3 消費者トラブルへの対応

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目		単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	人口1万人あたりの刑法犯罪認知件数	件／年	75.00	65.00	59.00	-	-	-
2	市内の交通事故死傷者数	人／年	1540.00	1300.00	1388.00	-	-	-
3								

<4. 市民モニタリング結果>

	施策値	総合順位
満足度	2.32	21
重要度	3.67	9

◆評価【 1:満足、2:ほぼ満足、3:あまり満足でない、4:満足でない、5:わからない 】

◆評価【 1:重要、2:ほぼ重要、3:あまり重要でない、4:重要でない、5:わからない 】

◆市民モニタリングでの主な意見

・最近 電話やハガキによる詐欺事件に関係ある内容の事例が我家にたびたび起きている。
・近所付き合いが薄くなっている。地域ぐるみの連携が大切。
・交通安全について、自動車の運転マナーの低下を感じる。高齢者ドライバーも恐い。急ブレーキ、急な割り込み、車線変更etc 子供を安心して歩かせることができない。
・地域での取組みは満足しています。
・消費生活相談員の方が親身にきてくださいました。
・もっと、巡回を増やしたり、警察との連携を強化していつて。夜とか滋賀県は人が少ない場所も多い。
・特に不満はない。
・私の地域は人も少ないためか、パトロール車もあまり見ない。
・こわいと思うところ(防犯上)を気軽に言えるツールをつくってほしいです。たとえば、千葉のあるところではアプリで、こわいところを写真にとって、送るというのがあってと思います。電話は言いにくいけど、アプリはやりやすいし、それを複数の人から送られてきたら、注目度が上がるとかしてほしいです。
・夜の大津駅近くや、変質者の目撃が多くある場所は、警察の方にもっともっとパトロールして頂きたいと思います。警察官の方もたくさんお仕事があり大変だとは思いますが、パトロールして頂いてる姿を見ると安心するし、犯罪の抑止につながると思います。うちは2回、自転車を盗まれたのですが、2回とも警察官の方に見付けて頂いた時はその熱心なお仕事ぶりに感嘆しました。
・迷惑電話やメールなどが増えている。防止できないか。
・街灯がない暗い道が北に行けば行くほどなく、夜道が危険すぎる。あと信号がない道路をどうにかしてほしい。

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		平成29年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
9	0	0	0	9	361,800	3	81,288	443,088
								平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度
								◎

<6. 評価> ◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

平成29年度	指標「人口1万人あたりの刑法犯罪認知件数」については、目標値である65件を毎年度、達成すべき目標として定めている。本年度の実績値は59件であり、110.2%の達成状況であったことから、評価としては順調である。指標「市内の交通事故死傷者数」については、本年度の実績値は1,388人で、目標値の1,300人にに対し、94.2%の達成状況であることから、評価としては順調である。 また、政策配下の事務事業のうち、評価対象となっている事業については、すべての事業において、計画どおり事業をすすめることが適当との総合評価であることから、進捗状況を順調と評価している。今後も、これまで同様に施策及び主な取組事業を推進していく。
--------	---

施策28 平成30年度 施策評価シート

所管部	消防局		所管課	消防総務課
施策名	03	消防・救急体制の充実		

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります
	基本政策	01	安心、安全に暮らすことのできるまちにします

<2. 施策概要>

課 題	火災対応及び突発的なケガ・病気による救急・救助事故対応を始め、地震、豪雨などの自然災害から市民生活の安心・安全を確保する消防・救急体制が求められている。		
目 標 と す る 姿	市民一人一人が安心して生活できる消防・救急体制が整っている。		
視 点	1 消防力の充実 2 救急救命体制の充実		

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目		単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	人口1万人あたりの出火件数	件／年	3.15	2.72	1.40	-	-	-
2	心停止傷病者の救命率	%	17.00	25.00	19.50	-	-	-
3								

<4. 市民モニタリング結果>

	施策値	総合順位
満足度	2.97	3
重要度	3.79	4

◆評価【 1:満足、2:ほぼ満足、3:あまり満足でない、4:満足でない、5:わからない 】

◆評価【 1:重要、2:ほぼ重要、3:あまり重要でない、4:重要でない、5:わからない 】

◆市民モニタリングでの主な意見

・救急車を呼んだ時にすぐに来てもらえるのは安心だが、軽いことで呼びすぎの感じもある。
・救急隊員の方が、丁寧に接してくれて、安心して病院まで運んでくれました。
・特に不満はない。
・近隣の他市と連携してほしい。県として(広域で)取組むのが良いと思う。
・私達を安全に守ってほしい。
・私の住む地域は国道が通ってしまおうと救急車が通れないと思う。
・よく、救急車をタクシーのように、軽症でも呼ぶ人がある。救急車の適切な使用も、周知したり、悪質なときは業務妨害として、罰するべきでは。
・救急車を呼ぶべきかどうかを、電話やアプリ、ネットでチェック项目的にして、呼びましょうとか、結果が表示されるようにしてほしいです。
・地域の消防団が、民間の人の力を借りて、その企業で働いてもらうとかできたらいいなと思います。
・人員確保が大事だと思う。救命士が来るまで私個人が出来る事を学びたい。
・救急車の数、サポートカーの導入、ドクターヘリの導入運用など。大津市は縦に長いので、時間がかかります。連絡しても時間がかかることも多いです。
・今のところ利用したことがないのでわからないのですが、一生懸命に取り組んで頂いているのだと思います。
・消防力や救急救命体制は、病院等の充実も必要だと思われます。消防での予防体制は変更させてほしい。

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		平成29年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
13	0	1	0	14	2,553,493	3	170,596	2,724,089
								平成29年度 平成30年度 平成31年度 平成32年度
								◎

<6. 評価> ◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

平成29年度	指標「人口1万人あたりの出火件数」については、本年度の実績値は1.4件／年であり、目標値を下回る出火件数であったことから評価としては順調、指標「心停止傷病者の救命率」については、本年度の実績値は19.5％で目標値には至らなかったものの、ほぼ順調と評価し、両者の指標から判断して、今年度までの取り組みは評価としては順調である。 施策配下の事務事業のうち主な取組事業の消防水利施設整備事業は、事業規模や見直しが必要であると評価する。 それ以外の施策を構成する事務事業は概ね順調であると評価し、今後もこれまで同様に主な取組事業をはじめ施策配下の事務事業を推進する。
--------	---

施策29

平成30年度 施策評価シート

所管部	企業局	所管課	経営戦略課
施策名	04	ライフラインの確保	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります
	基本政策	01	安心、安全に暮らすことのできるまちにします

<2. 施策概要>

課 題	上下水道やガスは、市民生活や経済活動の基盤となり、日常はもちろん、災害等の緊急時においても市民の生命を守る大切なライフラインであり、将来にわたって持続可能なサービスの提供が必要である。
目 標 と す る 姿	安心・安全で快適な上下水道と都市ガスの供給が確保されている。
視 点	1 ライフラインの維持管理 2 災害時におけるライフラインの確保

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目		単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	ガス導管総延長(本支管)	km	1270.00	1329.00	1286.00	-	-	-
2	浄水施設耐震化率	%	2.80	23.00	2.80	-	-	-
3	下水道施設(汚水管渠)の耐震化率	%	25.20	28.30	25.70	-	-	-

<4. 市民モニタリング結果>

	施策値	総合順位
満足度	3.00	1
重要度	3.84	3

◆評価【 1:満足、2:ほぼ満足、3:あまり満足でない、4:満足でない、5:わからない 】

◆評価【 1:重要、2:ほぼ重要、3:あまり重要でない、4:重要でない、5:わからない 】

◆市民モニタリングでの主な意見

- ・重要であると思うが、PFIによる民間との連携が公共のことに対して必要か疑問に思う
- ・民間に委託することなく、大津市で継続事業を進めて下さい。
- ・下水管、水道管工事をしている箇所をよく見かけようになった。万が一の際に備えているんだと安心する。
- ・災害後の早急な復旧や破損予防対策など重要。
- ・数年前の雨で自分の住んでいる地域の一部の道路がくずれた。普通ならすぐに直しにきれくれるのに、半年後に来てくれた。遅すぎる。
- ・災害は必ず起きると思うので、起きた時どうするか、普段対策していない人にも、スムーズに避難できるように、アプリやメールでお知らせしてほしい。調べられるようにしてほしいです。(設問26かもです)。水はあると思うので、それをすぐ飲料水にできるようにしてほしいです。電気も対策してほしいです。
- ・ライフラインは命に関わる。普段から調査などを進めてほしい。
- ・いつも安心・安全な状態でライフラインを提供して頂いていてありがたと思っています。その分、それが急にストップしてしまうと、たちまち困ると思うので、大津市の方から定期的に点検してもらえるとありがたいです。
- ・最近、水道破綻などが増えている。維持管理費用が増えていくと思われる。
- ・危険な道を各学区からアンケートをとるとかはどうでしょう。
- ・ガス、水道等の老朽化の更新が必要になるのではと思われます。災害時想定でなく進めてほしい。

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		平成29年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
0	0	0	0	0	0	12	39,994,638	39,994,638

<6. 評価>

◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
◎			

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

平成29年度	指標「ガス導管総延長(本支管)」については、本年度の実績値は1,286kmであり、平成29年度目標値1,295kmに対して99.3%の達成状況であったことから、本年度までの取組は順調であると評価している。 指標「浄水施設耐震化率」については、本年度の実績値は2.8%であり、平成29年度目標値2.8%に対して100%の達成状況であったことから、本年度までの取組は順調であると評価している。 指標「下水道施設(汚水管渠)の耐震化率」については、本年度の実績値は25.7%であり、平成29年度目標値25.7%に対して100%の達成状況であったことから、本年度までの取組は順調であると評価している。 いずれの指標からも、取組は順調としている。施策配下の事務事業、全てにおいて施策への貢献度が高く、今後も計画どおり事業を推進していく。
--------	---

施策30

平成30年度 施策評価シート

所管部	未来まちづくり部		所管課	まちづくり計画課
施策名	01	都心エリアの再生と地域形成		

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります
	基本政策	02	コンパクトで質の高い持続可能なまちにします

<2. 施策概要>

課 題	高度経済成長期以来の拡大志向の都市開発政策を見直し、持続可能な都市経営の理念の下、住み続けたいまち大津にふさわしい都心を再生する必要があります。計画的な土地利用を進め、美しい湖岸、懐かしい大津百町など古都の美しさを誇れる景観を再生するとともに、交通ネットワークの拠点である都心に人が集まり、駅間を回遊する人の流れを生み出すことが求められる。さらに、郊外部の地域もそれぞれの個性を活かしながら、利便性や快適性の高い地域形成が求められている。
目 標 と す る 姿	コンパクトな大津にふさわしい、琵琶湖岸の都市（湖都）及び古都大津として、その自然と歴史の魅力にあふれる都心が生まれる。大津駅、浜大津駅、膳所駅、大津京駅周辺の都心エリアには、市内外から人々が流入し、都心ビジネスも起業され、まちのにぎわいが創出されている。大津百町や旧街道沿いの町家等の歴史的建造物や琵琶湖への眺望が活かされ、古都大津の魅力的なたたずまいが、国内外からの観光客を集めている。また、郊外部の地域においても、豊かな自然環境や歴史・文化遺産、工場立地や商業集積などで栄えてきた個性や魅力を踏まえて、活力ある地域づくりが進められ、コンパクトで機能的なまちが整備されている。
視 点	1 都心エリアの再生 2 整った公共交通網を活かす拠点整備 3 個性や資源を活かした地域の活性化

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目	単位	基準値	目標値		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1 都心地区における休日の歩行者・自転車通行量	人／日	11379.00	13000.00		10254.00	-	-	-
2 中山間地域における持続可能なまちづくり組織の法人化件数	件	0.00	1.00		0.00	-	-	-
3								

<4. 市民モニタリング結果>

	施策値	総合順位
満足度	2.14	26
重要度	3.38	27

◆評価【 1:満足、2:ほぼ満足、3:あまり満足でない、4:満足でない、5:わからない 】

◆評価【 1:重要、2:ほぼ重要、3:あまり重要でない、4:重要でない、5:わからない 】

◆市民モニタリングでの主な意見

・ニュータウンに市外から越えてこられる方も多く、市の活性化につながっていくことが期待できる。
・「区画整備事業」、特に堅田駅西口関係については、事業が20年近く続いており、また整理事業後、土地が地主に返されたため、開発が進んでいない。もっと大津市がリーダーシップを発揮してほしい。
・大津駅周辺の開発はもう少し考えられた方がよかったのではないかな。大津駅も膳所駅にもぎわいが少なすぎる。
・大津駅西第一土地区画整理事業を評価。
・堅田駅西口開発工事が長い。
・大津中心部を再生させることは、重要かもしれないが、それは、その住人が主としてやるべきで、大津市が主体となってやることもない。
・1番にぎやかなところはどこかわからないので、どこか1ヶ所でも観光名所通りがあればいいと思います。
・駅に人が集まっていない。もっと集客力を増やす必要がある。そのために交通手段が悪すぎる。
・進められてはいますが、その都市がどのような拠点で他の都市とどのように連携をすすめていこうと目指されているのか分かりにくい。
・駅の整備は進めていただきたい。その町のイメージが変わる。
・県都でありながら町としての核がない。魅力がない。
・中山間地域活性化が進んでほしい。
・公共交通網が整っていない。
・堅田西口エリアにはもう少し飲食店やびわこに関する小さな工場も呼んだり(ex 嶋屋さん)とか、活性化してほしい。

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		平成29年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
6	0	0	0	6	487,802	15	1,363,841	1,851,643

<6. 評価>

◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
○			

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

平成29年度	指標「都心地区における休日の歩行者・自転車通行量」については、平成32年度に目標値である13,000人／日を達成するために年度毎の目標値として、平成29年度には11,650人／日としており、目標値に対して88%の達成状況であったことから、進捗評価は、ほぼ順調とする。また、今後もまちなか町家利活用推進事業である旧東海道整備事業が平成30年度に完了することや、都市再生活動促進事業を計画どおりに進めることにより、さらなる増加が見込める状況である。 指標「中山間地域における持続可能なまちづくり組織の法人化件数」については、平成32年度に目標値である1件を達成するために組織の自立的かつ持続可能な活動の支援を実施・検討している。本年度の実績値は0件であったが、1件のまちづくり組織が法人化を検討している状況であり、法人の形態について整理・検討していることから、評価としては、ほぼ順調とする。
--------	--

施策31 平成30年度 施策評価シート

所管部	未来まちづくり部		所管課	まちづくり計画課
施策名	02	公共交通ネットワークの再構築		

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります
	基本政策	02	コンパクトで質の高い持続可能なまちにします

<2. 施策概要>

課 題	人口減少・少子高齢化が進展し、地域公共交通をめぐり環境がますます厳しくなる中、公共交通ネットワークの縮小やサービス水準の一層の低下が懸念される。
目 標 と す る 姿	高齢者を始め全ての市民にとって利便性に配慮され自由に移動できるコンパクトな生活圏が形成されるとともに、広域交通の整備も充実した交通移動性の高いまちが形成されている。
視 点	1 地域公共交通ネットワークの再構築 2 広域公共交通ネットワークの維持 3 安心して通行できるバリアフリー化の推進

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目		単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	交通輸送サービスのモデル事業実施数	件	0.00	3.00	2.00	-	-	-
2	バリアフリー化整備駅数	駅	14.00	16.00	16.00	-	-	-
3								

<4. 市民モニタリング結果>

	施策値	総合順位
満足度	2.09	32
重要度	3.59	15

◆評価【 1:満足、2:ほぼ満足、3:あまり満足でない、4:満足でない、5:わからない 】

◆評価【 1:重要、2:ほぼ重要、3:あまり重要でない、4:重要でない、5:わからない 】

◆市民モニタリングでの主な意見

・コンパクトなまちづくりが、いいのかわからない。遠隔地をわざと不便にして市中心部への移住を進めるのは、目的なら反対。
・滋賀県で車に乗れないととても不便。
・161バイパス坂本付近、唐橋の渋滞はひどい。バイパスは夏場特に混む。(琵琶湖へ水泳に行く車で)
・高齢者が運転免許返納した後、公共交通機関を利用してどこへでも気軽に移動できる環境を整えて欲しい。
・JR石山駅近くに住んでおりますが、商店街など車いすでは買い物などすることが出来ません。歩道が細い車道しかないのと足の不自由な方々には、たいへんな町です。
・膳所駅だけが重要ではない。他にもっと見直す駅があったはずでは。
・特に不満はない。膳所駅の改修はよかったです。
・高齢者が免許返納しても活動しやすいような定期マイクロバス輸送など企画があるといいなと思う。
・自転車は誰が利用しているのか、どのようにして利用するのがわからない。
・湖西線の風対策はとても満足している。山科駅で湖西線とびわ湖線の発車をそろえたスムーズな乗り換えを実現してほしい。
・京阪浜大津にある路面電車と車の事故対策をしてほしい。
・車移動できない人にも移動しやすいようバスを充実させるなどしてほしい。もしくは循環タクシーとか(高齢者が増えるので)。
・公共交通手段は悪い。JRに乗るまでが特に悪い。駅が高い位置にある。
・他県に比べると車イスで出かけられる人がまだまだ少ないです。行政が考えるバリアフリーと実際の利用者の求めるバリアフリーとは乖離がある。
・コンパクト都市なら公共交通の発達必須。車がなくても生活できる大津にしたい。

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		平成29年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
7	0	0	0	7	528,443	38	3,493,491	4,021,934

<6. 評価>

◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
◎			

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

平成29年度	指標「交通輸送サービスのモデル事業実施数」については、本年度の実績値は2件であり、目標に対して100%の達成状況であったことから、評価としては、順調である。 指標「バリアフリー化整備駅数」については、本年度の実績値は16駅であり、目標に対して100%の達成状況であったことから、評価としては、順調である。 いずれの指標からも、取組は順調としている。 施策配下の事務事業のうち、主な取組事業の公共交通推進事業をはじめとする、地域公共交通網形成計画、膳所駅周辺整備推進事業等は概ね計画どおりに推進されており、今後も、これまで同様に主な取組事業をはじめ施策配下の事務事業を推進していく。
--------	---

施策32

平成30年度 施策評価シート

所管部	未来まちづくり部		所管課	住宅課
施策名	03	住環境の整備		

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります
	基本政策	02	コンパクトで質の高い持続可能なまちにします

<2. 施策概要>

課 題	人口減少社会の到来から、市営住宅の適正化、空き家等の問題が生じ、持続可能な住環境への対策が課題となっている。また、ペット文化の広がりにより、ある程度犬猫の飼育マナーは向上しているが、野良犬猫などにより地域の住環境における問題は依然として少なくない。
目 標 と す る 姿	市営住宅が適正に確保・管理されて、また、空き家の有効活用が図られる中で、市民が安心することができる住環境対応が推進されている。また、犬猫が適正に飼育され、人と動物が共存し合う環境が充実している。
視 点	1 市営住宅の適正な維持管理のマネジメント 2 空き家対策と有効活用 3 動物愛護の推進

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目		単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	苦情や通報のあった老朽・有害空き家等の指導方針確定率	%	65.00	80.00	61.00	-	-	-
2	地域猫活動支援事業延べ取組数	組	32.00	50.00	44.00	-	-	-
3								

<4. 市民モニタリング結果>

	施策値	総合順位
満足度	2.14	27
重要度	3.34	28

◆評価【 1:満足、2:ほぼ満足、3:あまり満足でない、4:満足でない、5:わからない 】

◆評価【 1:重要、2:ほぼ重要、3:あまり重要でない、4:重要でない、5:わからない 】

◆市民モニタリングでの主な意見

・うちの周りにも空き家がいっぱいある。有効活用とはどんなものか？ちゃんと飼育されてない犬猫がいるが、指導できないのか？
 ・「空き家対策と有効利用」は全国的な課題です。難しい課題ですが、ぜひ具体的な取組をお願いします。
 ・捨て犬や猫をよく見かける。見るとどのように生きているのか心配になる。
 ・空き家をもっときちんとしてほしい。
 ・使いたい人、使ってほしい人をネットやアプリでマッチングできるようにしてほしいです。
 ・安心して犬を連れて歩ける街にほしい。犬が遊べる場所の設置とか長く育てるため。
 ・空家対策も一時のかけ声だけみたいです。これこそ、持続すべき対策。大津市内もさみしいし、外資本が来てるみたい。
 ・県営住宅がやっていくように若い人が入居しやすい方法も導入するべき。
 ・空き家対策について、具体的にどういったプランで対策するのか教えてほしい。
 ・動物の引き取りを行っているサイトをもっと広めてほしい。
 ・近所の通学路に空き家があり、ボロくてとても危険です。通学路内の空き家の耐震強度の確認を希望します。
 ・大津京地区のマンションが少ない(売物件)
 ・空き家でも危険な場合やブロック塀対策が必要。

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		平成29年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
5	1	0	0	6	216,513	7	227,283	443,796

<6. 評価>

◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
◎			

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

平成29年度	指標「地域猫活動支援事業延べ取組数」及び「苦情や通報のあった老朽・有害空き家等の指導方針確定率」については、目標値を概ね達成している。今後も、市営住宅の居住環境の改善も含め、効率的な住環境の整備を一層推進していく。
--------	---

施策33 平成30年度 施策評価シート

所管部	産業観光部		所管課	商工労働政策課
施策名	01	商工業の振興		

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります
	基本政策	03	経済が活性化し、元気なまちにします

<2. 施策概要>

課 題	本市の産業は、地域ごとに息づく事業所が、地域資源の活用を図ることにより成長しつつ、地域産業の多様性を生み出し、その特色を活かしながら、地域経済の発展に寄与してきた。また、地域コミュニティを支える存在としても機能してきた。しかし、事業者は、人材の確保や育成及び情報収集等の分野において多くの課題を抱えている。 今後、地域の事業者の発展と成長を促し、地域経済の活性化を図るためには、地域の中小企業を始めとする事業者の成長及び時代に即した産業の育成や創造が求められている。
目 標 と す る 姿	産業の多様性という地域の特性及び観光客の増加等による地域の優位性を活かすことにより、経済の持続可能な発展が実現し、中小企業を始めとする地域経済を支える事業者が成長することにより、本市の商工業が活性化している。
視 点	1 新産業の創出、起業支援 2 地域産業の継承

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目		単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	付加価値額	億円	1212.00	1259.00	1156.00	-	-	-
2	市内事業者の業況値	ポイント	-15.90	5.00	10.40	-	-	-
3								

<4. 市民モニタリング結果>

	施策値	総合順位
満足度	2.00	34
重要度	3.45	25

◆評価【 1:満足、2:ほぼ満足、3:あまり満足でない、4:満足でない、5:わからない 】

◆評価【 1:重要、2:ほぼ重要、3:あまり重要でない、4:重要でない、5:わからない 】

◆市民モニタリングでの主な意見

・流通網（特に陸送）がネック。滋賀から大阪へは湖西道路逢坂峠が名神の4本しかない。また、湖西方面からは、2本しかないため、流通ネットワークの整備が重要（通勤がJRしかない（他府県からの経路））
・大津競輪場跡地で女性ワーキングスペースが出来ると聞いた。どのような施設になるのか楽しみにしている。
・この取組が成功しないと、人口減や地域の活性化が進みません。いろいろな立場の人の意見をきいて具現化してください。
・京都に働きに出ればいいやという感覚がある。
・いろいろな人が働ける可能性のある産業、起業スペースとして大切。
・大津の発展に重要だと思う。
・高速道路の近くに工場が立地できていることから、企業立地の促進はうまくいっているのではないかと思う。
・企業誘致では、京都市、草津市に負けている。
・地理的には、とても条件はいいと思うので、そこをアピールして、もっと誘致したらいいと思います。
・大きな話ではなく、商店街などが消えてしまっている。企業のことばかりで、小さな地域が活性化しない。
・にぎわうのはいいのですが、その結果びわ湖に害を及ぼす可能性もあるのも配慮してほしい。
・働ける場が減ると若い人が住むだけで、働く土地に通勤するだけになってしまう。
・湖西の里山を有効活用して、企業誘致する環境づくりが先。

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		平成29年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
6	6	0	2	14	489,665	9	278,241	767,906

<6. 評価>

◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
◎			

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

平成29年度	商工業の振興は、雇用の創出と税収の増加などの経済波及効果をもたらし、活力と魅力に満ちたまちの原動力になるものと認識している。 施策指標の「付加価値額」については目標値より5%ほど下回っているものの、「業況値」については目標値を上回っているため、市内の事業所をとりまく景況感は回復傾向にある。 今後、これまで取組んできた地域経済の活性化に資する企業立地事業、付加価値や競争力の高い事業に取組む商工業者・起業家等の育成支援事業、また既存中小企業者の経営安定化にかかる資金融資事業等を継続実施することで、更に商工業の活性化を目指していく。
--------	---

施策34

平成30年度 施策評価シート

所管部	産業観光部		所管課	農林水産課
施策名	02	農林水産業の活性化		

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります
	基本政策	03	経済が活性化し、元気なまちにします

<2. 施策概要>

課 題	農林水産業を取り巻く環境は、高齢化や担い手不足の深刻化等により、十分な生産量が確保できない状況が続くなど、都市近郊農業という本市の地域特性が活かせていない。
目 標 と す る 姿	安心で安全な地場産品の充実などにより、農林水産業が活性化し、自給率が向上し、地産地消が進んでいる。
視 点	1 大津の特性を活かした農林水産業の振興 2 地産地消の推進

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目		単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	人・農地プランの作成件数	件	9.00	13.00	11.00	-	-	-
2	漁獲量	t/年	110.00	120.00	89.00	-	-	-
3								

<4. 市民モニタリング結果>

	施策値	総合順位
満足度	2.16	24
重要度	3.53	21

◆評価【 1:満足、2:ほぼ満足、3:あまり満足でない、4:満足でない、5:わからない 】

◆評価【 1:重要、2:ほぼ重要、3:あまり重要でない、4:重要でない、5:わからない 】

◆市民モニタリングでの主な意見

・大津は特産品も多く、地産地消。
・土地を持っていない若者をうまく募って活性化につなげるのがよい。
・大津ならではの食材を作り、他の地域にPRできたら良いと思う。
・道の駅などで特に、地元の商品が売られているが、スーパーなどにくらべて立地もあまりよくなく、認知もされていないと思う。それらをもっと促進すれば良いのではないかなと思う。
・大津市の特産をあまり聞かない。大津特性のものを周知したり、アピールするべきでは。
・立地はいいと思うので、(京都に近く、ど田舎ではない)働きたいという若者を募集したらいいと思います。
・もっとPRしてほしい。需要は絶対ある。大々的にやっている感を出す必要はないため、何が足りなくて何人必要なのかを見える化すれば人は集まると思う。
・市民から農業の担い手になれるような施設を考えていただきたい。
・野菜がおいしい。お米おいしい。実はおいしい物いっぱいある。

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		平成29年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
9	4	0	0	13	290,792	21	240,782	531,574

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
○			

<6. 評価> ◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

平成29年度	指標「人・農地プランの作成件数」については、本年度の実績値は11件であり、目標に対して110%の達成状況であったことから、評価としては順調である。 指標「漁獲量」については、本年度の実績値は89トンであり、目標に対して74%の達成状況であったことから、評価としてはやや不調である。 以上の指標から、取り組みはほぼ順調としている。 施策配下の事務事業のうち主な取組事業の活力あるむらづくり推進事業、ほ場整備事業は計画どおり事業を進めることが適当、地産地消推進事業、水産振興事業、鳥獣害対策強化事業は事業の進め方に改善が必要と評価する。それ以外の施策を構成する事業の取り組みは、概ね順調であると評価する。今後、施策目標を見据え、主な取組事業の進め方を検討する必要がある。
--------	---

施策35

平成30年度 施策評価シート

所管部	産業観光部	所管課	商工労働政策課
施策名	03	就労支援と働き方の見直し	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります
	基本政策	03	経済が活性化し、元気なまちにします

<2. 施策概要>

課 題	少子高齢化の加速とともに人口減少が続く中、本市の持続可能な経済発展や市内への定住を促進するとともに労働力不足の解消にも取り組むことが求められている。 また、仕事と生活の両立が図られるワーク・ライフ・バランスの実現や誰もがやりがいや充実感を持って就労できることが求められている。
目 標 と す る 姿	老若男女を問わず働きたい人が希望する仕事に就き、誰もがやりがいと充実感を感じながら家庭や地域活動と両立して働くことができる環境が整っている。
視 点	1 就労の確保 2 働き方の改革

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目		単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	有効求人倍率(大津公共職業安定所管内)	倍	1.13	1.20	1.15	-	-	-
2	くろみん認定企業数	社	10.00	37.00	11.00	-	-	-
3								

<4. 市民モニタリング結果>

	施策値	総合順位
満足度	1.72	40
重要度	3.58	16

◆評価【 1:満足、2:ほぼ満足、3:あまり満足でない、4:満足でない、5:わからない 】

◆評価【 1:重要、2:ほぼ重要、3:あまり重要でない、4:重要でない、5:わからない 】

◆市民モニタリングでの主な意見

・今は人手不足なので、就労の機会も増えていると思う。今後の経済の行方でもうなるのが心配
 ・他府県で仕事している方も多いので、滋賀県もライフワークバランスを見直していく。
 ・京都に働きに出ればいいやと思っているところはある。個人的に。やりたい仕事が大津にあればいいが・・・。
 ・民間サービスで十分。行政が効果的施策を実行できない分野。
 ・大津市にはどのような就職先があるのかがあまりわかっていないのでどうしても県外で職を考えたいと思ってしまう。そのため、高校などの早い段階でそういうことを紹介する場があるといいと思う。
 ・働きたいという人と、働いてほしいという人が、うまく会えるように、婚活アプリのようなものをつくらいいかもしれません。
 ・寿命が伸びている分、高齢者の働き方が再考の必要が有ると思われる。
 ・各事業所での職場環境のチェックは必要だと思います。大津市には、超過勤務・サービス残業など、まだまだ明らかになっていないブラックな面があるようです。抜き打ち調査や内部告発的な形となっても、きちんとチェックして、すべての人にとって働きやすい職場環境を作らなければならないと思います。
 ・高令者の維持可能な就労確保、更にもっと取り組んでほしい。
 ・非正規職員が増加している。正職員への雇用の道を!
 ・中小へ行きたい人はいいが、大企業に行きたいレベルの高い学生の受け皿がない。
 ・就職 売り手市場であるにもかかわらず面接会の開催は必要か?大津市に大企業の誘致が重要、ひいては中小企業もできる。大津市内の就業者が増える。
 ・ミスマッチしないように学生の良さを発揮できるようなフェアを行なわれたらいいなと思います。

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		平成29年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
1	4	0	0	5	57,775	1	21,150	78,925

<6. 評価>

◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
◎			

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

平成29年度	景気は緩やかな回復基調が続いており雇用情勢が改善傾向にある中、求職者や事業主のニーズに応じた就業支援や市内事業所のワークライフバランスなど働き方改革につながるような様々な施策が取組んでいる。 施策指標の「有効求人倍率」については、基準値1.13倍(H28.3末)から1.15倍に上がっており、また、「くろみん認定企業数」については、11社に増加していることから、進捗評価は順調であると評価できる。 今後も国内の雇用情勢や経済情勢に傾注し、勤労者が希望する働き方が選択でき、充実感を持って働けるまちづくりを形成するための施策を推進していくこととする。
--------	---

施策36

平成30年度 施策評価シート

所管部	環境部	所管課	環境政策課
施策名	01	再生可能エネルギーの活用	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります
	基本政策	04	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにします

<2. 施策概要>

課 題	多発する大規模な自然災害や原子力発電所の事故を契機として、地域における自立したエネルギーへの関心が高まっている。また、石油・石炭などの化石燃料から二酸化炭素排出量の少ない再生可能エネルギーへの転換を図り、低環境負荷型の持続可能なエネルギー社会の形成が求められている。
目 標 と す る 姿	再生可能エネルギーの利用拡大や更なる省エネルギー型の生活スタイルにより、可能な限り自立したエネルギーの普及と低炭素社会の形成が進んでいる。
視 点	1 再生可能エネルギーを活用したまちづくり

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目		単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	家庭におけるエネルギー消費量(H22年度)に対する再生可能エネルギー等で創出されるエネルギーの割合	%	11.20	16.00	12.30	-	-	-
2								
3								

<4. 市民モニタリング結果>

	施策値	総合順位
満足度	2.13	28
重要度	3.66	10

◆評価【 1:満足、2:ほぼ満足、3:あまり満足でない、4:満足でない、5:わからない 】

◆評価【 1:重要、2:ほぼ重要、3:あまり重要でない、4:重要でない、5:わからない 】

◆市民モニタリングでの主な意見

- ・大津市として再生可能エネルギーの取組全体像がわからない。
- ・再生可能エネルギーは重要と思うが太陽光発電のパネルは景観がよいくない。
- ・常に改良して再生可能エネルギー利用をすすめていくべき。
- ・良いことだと思う。お金を節約できる。
- ・ソーラー発電所の促進が目に見えて取り組まれていることがよく分かる。しかし、まわりの景観に明らかに溶け込めていないため、とても違和感を感じる。
- ・再生エネは魅力的だが、それをするために、多大のコストはNG。
- ・自然があるので、これはできるだけ目指してほしいです。
- ・エネルギーは無限ではないから、出来るものは利用する必要があり、再生可能なものがどんなものか知らせてほしい。
- ・廃プラゴミ分別をしているがどれだけ再生エネルギー化しているか教えてほしい。
- ・再生可能エネルギーをもっと親しみやすい物にして、びわ湖の汚染を改善してほしいです。

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		平成29年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
1	0	0	0	1	23,462	1	0	23,462

<6. 評価>

◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
◎			

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

平成29年度	年度毎の目標値(平成29年度、12.3%)に対して、平成29年度の実績値は、12.3%であり、100%の達成率である。そのことから、取り組みは順調であると評価している。施策配下の事務事業について、いずれも計画どおり事業を進めることが適当であると評価する。これらの事務事業は、目標達成のため必要であり、今後も引き続き計画どおり事業を推進していく。
--------	--

施策37

平成30年度 施策評価シート

所管部	環境部	所管課	廃棄物減量推進課
施策名	02	循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります
	基本政策	04	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにします

<2. 施策概要>

課 題	大量生産・大量消費型の社会システムから廃棄物の3R(発生抑制、再使用、再利用)による循環型社会へ向けた取組が求められている。また、近年、無許可埋立てや許可量を超える埋立てなどを起因とした土砂崩落が発生するなど、土砂等の埋立て等についての問題及び廃棄物の不法投棄問題が生じている。
目 標 と す る 姿	市民や事業者の環境への意識が高まり、廃棄物の3R活動と適正処理による循環型社会の形成が進んでいる。また、土砂等による埋立て等の規制により、適正な埋立て等が行われ、自然環境が保全されている。
視 点	1 ごみの減量と再資源化 2 適正処理の推進 3 土砂等の埋立て規制の強化

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目	単位	基準値	目標値		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1 市民一人あたりのごみ排出量(資源ごみ除く)	g/人・日	699.90	686.00	713.60	-	-	-	-
2 不法投棄に関する苦情件数解決率	%	88.00	90.00	99.00	-	-	-	-
3								

<4. 市民モニタリング結果>

	施策値	総合順位
満足度	2.57	11
重要度	3.78	5

◆評価【 1:満足、2:ほぼ満足、3:あまり満足でない、4:満足でない、5:わからない 】

◆評価【 1:重要、2:ほぼ重要、3:あまり重要でない、4:重要でない、5:わからない 】

◆市民モニタリングでの主な意見

・最近 アメリカでストロー問題のニュースがあり日本の企業(県内企業)もあとに続いて欲しい。
・海外にリサイクル品を輸出しているが、やはり日本でリサイクルするべきと思う。
・守山市のように、ゴミ袋に名前を書くことを義務付けた方が良いのでは?と思うほどマナーの悪い人もいる。
・しっかり分別の徹底ができています。イベントの時(祭)が花火大会は汚れてしましますが。
・ペットボトルキャップを集めることでワクチンが作れるので、それらの活動も積極的に広げてほしい。
・もっと、街にゴミ箱を設置した方が良いと思う。
・できれば、ゴミ収集をもっと増やしてほしい。
・これ以上ごみの分別はしたくない。プラごみを燃えるゴミと一緒にして燃焼力を上げるといふ県外の地域もあると聞くと、分別しなくてもいいのではないかと思ったりします。
・環境汚染を防げることは、小さなことでいいから実践したい。ゴミ袋の工夫(他地域は結ぶことが出来るので便利)
・高令者はゴミ捨てが大変になります。
・大津市が主催となって「古着引き取り」「ランドセル回収」等々のリサイクルをどんどんやってほしいと思います。特に引越等の時には大型の不要物がたくさん出るの、それらを引き取りリサイクルに役立ててもらえると、ありがたいのになという声をよくききます。(粗大ゴミにするのはもったいないので)
・プラスチック製品などを作ったり利用する業者に利用後の引き取りなどを義務付けするなどできるだけ使用を規制するべき
・中山間地域に土砂の不法投棄が多いし、防止がされていない。
・リサイクルや分別は進んでいるが、そもそものペットボトル使用減量 食品ロス減量などリサイクル以前への取組みが必要と思われる。

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		平成29年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
22	0	1	0	23	3,900,871	16	1,495,897	5,396,768

<6. 評価>

◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
◎			

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

平成29年度	指標「市民一人あたりのごみ排出量」については、本年度の実績値は713.6g/人・日であり、目標に対して97%の達成状況であったことから、評価としては順調である。 指標「不法投棄に関する苦情件数解決率」の毎年度の目標値は90%で、本年度の実績値は99%であり、目標値を達成していることから、評価としては順調である。 以上のことから、評価指標としては順調であるが、ごみ排出量にごみ処理にかかる経費に影響するため、削減に向けて引き続き取り組んでいく。
--------	--

施策38 平成30年度 施策評価シート

所管部	総務部	所管課	行政改革推進課
施策名	01	行財政改革の強化と持続可能な都市経営	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります
	基本政策	05	徹底した行財政改革を進め、確かな都市経営を進めます

<2. 施策概要>

課 題	少子高齢化の進展に伴い社会保障費が更に増加し、一方で、行政に対する市民ニーズが多様化することで、本市の行財政運営を取り巻く環境はますます厳しくなると考えられる。限られた財源を活用しながら、ニーズに照らした適切な市民サービスを提供し続けるために、最適な行財政運営につながる徹底した行財政改革の取組を継続しながら、持続可能な都市経営の実現を図ることが求められる。
目 標 と す る 姿	徹底した行財政改革が実施され、限られた財源を有効に活用した健全な行財政運営の下で、持続可能な都市経営が進んでいる。
視 点	1 行財政改革と効率的な行財政運営の継続 2 民間活用の推進

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目		単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	行革プランにおける削減効果額	千円	0.00	4055326.00	4202022.00	-	-	-
2								
3								

<4. 市民モニタリング結果>

	施策値	総合順位
満足度	1.87	39
重要度	3.62	12

◆評価【 1:満足、2:ほぼ満足、3:あまり満足でない、4:満足でない、5:わからない 】

◆評価【 1:重要、2:ほぼ重要、3:あまり重要でない、4:重要でない、5:わからない 】

◆市民モニタリングでの主な意見

・市も収入を増やす取組の積極展開を検討下さい。
・大阪市を見習うべき(人件費のカットなど)
・小中学校等の適正ビジョン、公共施設の統廃合など具体的なスケジュールとその効果を地元を示してください。
・難しく分からない。
・民間にできることは、民間にする。昔の小泉政権のやり方もひとつでは。
・大津市は広いので、民間活用は推進してほしいです。
・財政改革として市民にわかりにくい
・人員を減らすことが最優先です。より健全な財政になります。
・適正化、効率化は必要なことだと思いますが、IT化されることで、取り残される人がないようにだけはおりたいと思います。
・マイナンバーのメリットが少ない
・なぜ、マイナンバーの利用率があがらないのか検討が必要。
・民営化は不安
・ここに書いてある内容の事が実行されてような実感が無い。
・人口減少を見ずえ行政経費等の見直しを進めてほしい。
・日本は教育にお金をかけなさすぎだと思います。教育は100年の計 2028年もですが、10年～100年続くような改革をお願いしたいです。

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		平成29年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
12	4	3	1	20	1,826,293	57	22,887,844	24,714,137

<6. 評価>

◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
◎			

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

平成29年度	平成29年度の目標値に対する実績値としては、計画期間中の目標値(4年間累積)を上回る効果をもたらすこととなった。ただし、施策を構成する取組の一部については、目標値を設けず、取組を進めたため、予定外の効果が得られるものとなった。 将来の人口減少や少子高齢化の進展、公共施設の維持管理コストの増大など、行財政運営のリスクを踏まえ、引き続き今回の評価によって明らかとなった効果の保持に加え、新たな取組の探求、具体化を図り、持続可能な都市経営の基盤づくりを図っていく。
--------	---

施策39

平成30年度 施策評価シート

所管部	総務部	所管課	公共施設マネジメント推進課
施策名	02	公共施設マネジメントの推進	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります
	基本政策	05	徹底した行財政改革を進め、確かな都市経営を進めます

<2. 施策概要>

課 題	これまで整備した公共施設の多くが、今後数十年の間に老朽化し、その修繕や更新などに大きな財政負担が必要になる。また、今後の人口減少や少子高齢化の進行により、将来に必要な公共施設やその需要が現状と異なってくることが予想される。そのため、公共施設の在り方を見直し、これらの課題に対応した対策を講じていくことが必要になる。
目 標 と す る 姿	人口構造の変化、市民ニーズ、地域の状況などを踏まえた行政需要と財政状況に応じた、公共施設の総量、機能の適正化、最適な施設維持保全の実施などの公共施設マネジメントが推進されている。
視 点	1 公共施設等の適正化 (1)市立幼稚園の規模適正化、(2)市立小中学校の規模等適正化、(3)市民センター機能の見直し、(4)市営住宅マネジメントの推進

<3. 成果指標>

指 標					実績値			
項 目		単 位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	公共施設マネジメントの取組の進捗率	%	0.00	100.00	25.00	-	-	-
2								
3								

<4. 市民モニタリング結果>

	施策値	総合順位
満足度	1.91	38
重要度	3.60	13

◆評価【 1:満足、2:ほぼ満足、3:あまり満足でない、4:満足でない、5:わからない 】

◆評価【 1:重要、2:ほぼ重要、3:あまり重要でない、4:重要でない、5:わからない 】

◆市民モニタリングでの主な意見

- ・市民センターの見直しについては、市役所からの交通の不便な地域については地域の住民の考えをしっかりと聞いて欲しい。例として市民センターとしての行政機能は残して職員数を減らす等できないものかと思う。
- ・縦に長い地形の大津だからこそ、市民センターは減らすべきでないと思います。(高齢者が増えると、市役所まで来られない人も増える。市役所の人員をスリム化することは不可能なのか?)
- ・小中学校等の規模適正化に疑問がある。大規模校に対しては、適正に対応されていない。数的には小さいが、問題は大きいです。早急な対応を望みます。
- ・今後高齢化と言いつつも市民センターを減らそうとされている。大津市は地形的にも、移動が大変、市民センターは減らして欲しくない。
- ・最近では気温が高いので全校舎にエアコン設置してほしい。
- ・学校施設に関して言えば耐震工事が進んでいて適切な対策がなされていると思う。
- ・公共施設でも、ほとんど利用していない所は改善が必要。
- ・適正化した理由を透明化してほしいです。(なくす理由、なくさない理由など)
- ・市民センターについては、できるだけ既存の形で残してほしい。各種証明書は職員の方に丁寧に分かりやすく教えてもらいながら手続きできるのはとてもありがたい。
- ・本当に将来に負担を残さないか検討すべき、住民の利便性も考えるべき。
- ・市民センターの見直しが進められているが、大津の地理的理由からも慎重に進めてほしい。
- ・生徒が少ない小学校合併は仕方ないが、生徒の通学についてもケアできているのか。
- ・市民センターこそオープンシフト制にして、朝から夜の開館できる形にし利便性を高めて欲しい。

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		平成29年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
7	0	0	0	7	457,425	8	364,932	822,357

<6. 評価>

◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
◎			

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

平成29年度	平成29年度においては、これまでの公共施設マネジメントの取組を踏まえ、公共施設白書再編の見直しを行うとともに、公共施設の将来配置案の作成に向けて関係部局長協議等を実施し、30年度の進め方や横断的な取組体制の整備への調整等を行ってきたところである。また、官民連携に係る勉強会を開催し、官民連携事業を誘導する環境整備に努めてきたところから、これらの取組により概ね予定どおりに進められていると考えている。 当施策関係の事務事業については、公共施設マネジメント基本方針や公共施設適正化計画の策定を踏まえ、分類別に個別計画の策定に向けた取組を進めているところであるが、市民センター及び小中学校等の適正化については、特に住民と密接な関係があることから進捗状況を踏まえ段階的に取組を進めていく必要がある。
--------	---

施策４〇

平成30年度 施策評価シート

所管部	政策調整部	所管課	市政情報課
施策名	03	開かれた市政の推進	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります
	基本政策	05	徹底した行財政改革を進め、確かな都市経営を進めます

<2. 施策概要>

課 題	市政への信頼と関心を高め、更に参画を促すためには、市民への説明責任と併せて、積極的な情報公開とオープンデータ等の市政情報の発信が求められている。市政情報を効率的かつ効果的に提供することが必要である。
目 標 と す る 姿	市民への情報公開と広報・広聴、市政情報の発信により、市民が必要な情報を適切に入手できるような仕組みが整えられている。
視 点	1 知る権利を尊重した情報公開の推進 2 オープンデータ等による市政情報の発信

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目		単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	年間プレスリリース数	件／年	881.00	916.00	903.00	-	-	-
2								
3								

<4. 市民モニタリング結果>

	施策値	総合順位
満足度	2.43	16
重要度	3.42	26

◆評価【 1:満足、2:ほぼ満足、3:あまり満足でない、4:満足でない、5:わからない 】

◆評価【 1:重要、2:ほぼ重要、3:あまり重要でない、4:重要でない、5:わからない 】

◆市民モニタリングでの主な意見

・アナログしか利用できない少数派の人間を切り捨てるような事はないようにして下さい。
 ・地域での活動をもっと発信して、親しみを深く作ってきたい。
 ・少し調べると市民が利用可能な市営の施設が多くあったが、それをもっと前面に出して市民に知らせると効果的な利用が行われると思う。難しいとは思いますが、ホームページの情報公開だけでは十分に情報が行き渡らないと思う。
 ・もっと、広報やHPをわかりやすくしてほしい。大津市のHPは正直わかりにくい。
 ・アプリやLINE、インスタを利用できるようにしてほしいです。
 ・知る権利として自分自身が行動しないといけない。受動体では、ダメなんだろう。
 ・市民との対話を拒むのは役所。市民とは一かたまりでない一人一人が市民！ 一人の市民を大事にしない行政。
 ・パソコンがない方もおられるので、そういった方たちにもきちんと情報が提供できる状態であってほしいと思います。また、見たり、読んだり、理解したり、が難しい場合に様々な相談ができるのが市民センターかなと思っています。本来受けられるべきサービス支援がもれずにすむように、様々な形(パソコン・広報誌・対面)で、情報提供をお願いしたいと思っています。
 ・スマートフォン用に作られたHPはわかりやすい。
 ・情報公開は進んでいるが、どれだけの市民が見ているか疑問です。市民への啓発等がもっと必要では。

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		平成29年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
8	1	0	0	9	315,347	1	6,694	322,041

<6. 評価>

◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
◎			

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

平成29年度	目標値であるプレスリリース数を毎年度、達成すべき目標と定めている。平成29年度の実績は、903件であり、目標値に対し102%の達成率であることから、進捗は順調である。 施策配下の事務事業のうち、市民相談事業では、特別相談について一部利用率の低いものがあり、事業の進め方に改善が必要であると評価する。それ以外の施策を構成する事務事業については、概ね、計画どおりに推進されており、今後も、これまで同様に主な取組事業をはじめ施策配下の事務事業を推進していく。
--------	---

